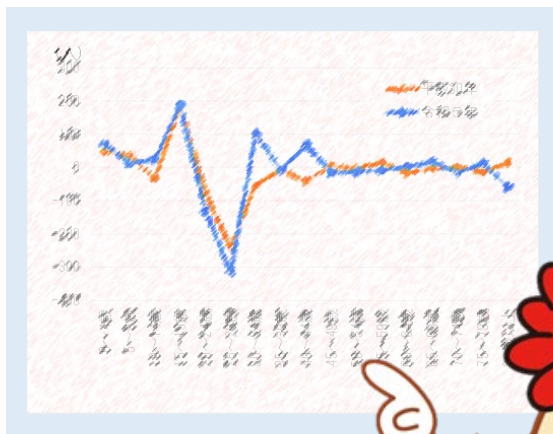


金沢区地区別データ集

データdeかなざわ

DATA de KANAZAWA



令和7年1月発行

金沢区地域振興課地域力推進担当

I 金沢区の概況

| | | | |
|--------------------------|---|-----------------------|----|
| 1. 概況(1) 人口、世帯数、年齢別人口 | 1 | 9. 未就学児と児童・生徒 | 9 |
| 図1 人口、世帯数、平均世帯規模の動向 | | 図20 0～4歳の密度(R2) | |
| 図2 年齢5歳別人口の動向 | | 図21 5～9歳の密度(R2) | |
| 表1 人口、世帯数、年齢別人口等の動向 | | 図22 10～14歳の密度(R2) | |
| | | 図23 15～19歳の密度(R2) | |
| 2. 概況(2) 年齢別人口の動向 | 2 | 10. 高齢者の動向、高齢者世帯の分布 | 10 |
| 図3 年齢5歳別人口構成の比較(令和2年) | | 図24 高齢者の増加率(H27～R2) | |
| 図4 年齢5歳別人口の推移率(対前5年) | | 図25 高齢単身世帯の密度(R2) | |
| 図5 年齢別人口の動向 | | 図26 高齢の夫婦のみの世帯密度(R2) | |
| 3. 概況(3) 人口移動と人口の推計 | 3 | 11. 避難場所等 | 11 |
| 図6 人口移動(転出入と出生死亡)の動向 | | 図27 避難場所等の配置 | |
| 図7 年齢別社会移動の動向 | | 12. 地形と鉄道、バスによるネットワーク | 12 |
| 図8 年齢別人口の動向 | | 図28 地形と鉄道、バスによるネットワーク | |
| 図9 年齢別人口の動向と推計(比率) | | 13. 教育施設 | 13 |
| | | 図29 教育施設の分布と学校区 | |
| 4. 地形とまち(町丁目)の位置 | 4 | 14. 区民利用施設 | 14 |
| 図10 地形とまち(町丁目)の位置 | | 図30 区民利用施設の分布 | |
| 5. 地域の構成 | 5 | | |
| 図11 地域の構成 | | | |
| 6. 住宅(1) 建て方別住宅の分布 | 6 | | |
| 図12 建て方別住宅の分布 | | | |
| 7. 住宅(2) 住宅の所有関係別世帯の比率 | 7 | | |
| 図13 持家に住む世帯の比率 | | | |
| 図14 民間の借家に住む世帯の比率 | | | |
| 図15 公的な借家に住む世帯の比率 | | | |
| 図16 社宅等に住む世帯の比率 | | | |
| 8. 子育て世代と就学前の子ども | 8 | | |
| 図17 子育て世代(25～39歳)の比率(R2) | | | |
| 図18 0～4歳の割合(R2) | | | |
| 図19 0～4歳の増加率(H27～R2) | | | |

II 地区別の特性と比較

| | | | |
|----------------------|----|----------------------|----|
| 1. 地区別人口と世帯の動向(1) | 15 | 5. 地区別年齢別人口の動向と分布(2) | 19 |
| 図1 人口の動向 | | 図12 65～74歳人口の動向 | |
| 図2 世帯数の動向 | | 図13 65～74歳人口密度(R2) | |
| 図3 人口密度(R2) | | 図14 75～84歳人口の動向 | |
| 図4 人口増減(H27～R2) | | 図15 75～84歳人口密度(R2) | |
| | | 図16 85歳以上人口の動向 | |
| 2. 地区別人口と世帯の動向(2) | 16 | 図17 85歳以上人口密度(R2) | |
| 図5 平均世帯規模の動向 | | 6. 地区別年齢別人口の動向と分布(3) | 21 |
| 図6 平均世帯規模(R2) | | 図18 0～4歳人口の動向 | |
| 3. 地区別年齢別人口 | 17 | 図19 5～9歳人口の動向 | |
| 図7 地区別年齢別人口(R2) | | 図20 10～14歳人口の動向 | |
| | | 図21 15～19歳人口の動向 | |
| 4. 地区別年齢別人口の動向と分布(1) | 18 | 図22 20～24歳人口の動向 | |
| 図8 0～14歳人口の動向 | | 図23 25～39歳人口の動向 | |
| 図9 0～14歳人口密度(R2) | | 図24 40～64歳人口の動向 | |
| 図10 15～64歳人口の動向 | | | |
| 図11 15～64歳人口密度(R2) | | | |

Ⅲ 地区別情報 (別冊)

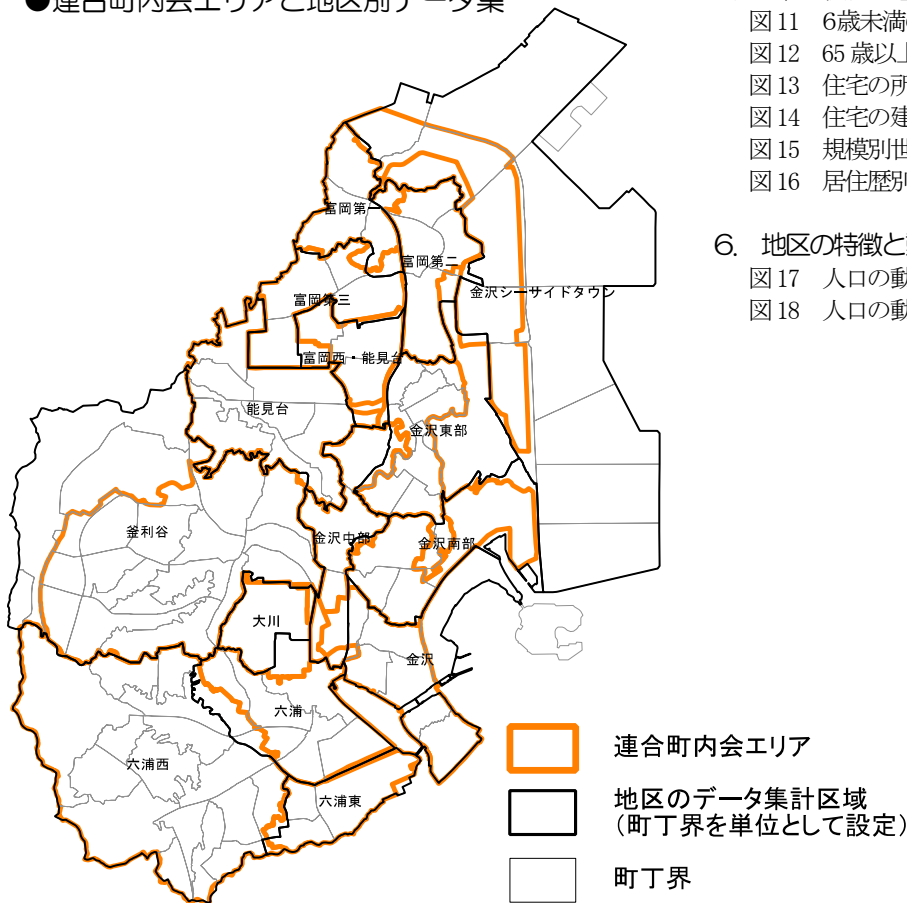
町丁別の統計データを活用して以下の地区別にデータを集計しました。

- 1 富岡第一地区
- 2 富岡第二地区
- 3 富岡第三地区
- 4 富岡西・能見台地区
- 5 能見台地区
- 6 金沢シーサイドタウン地区
- 7 金沢東部地区
- 8 金沢中部地区
- 9 金沢南部地区
- 10 金沢地区
- 11 六浦東地区
- 12 六浦地区
- 13 六浦西地区
- 14 釜利谷地区

地区別情報として以下のデータを作成し収録しました。

| | | |
|-----------------------|-------|---|
| 1. 地区の概況 | ----- | 1 |
| 図1 地区の位置 | | |
| 表1 人口、世帯数、年齢別人口等の動向 | | |
| 2. 町丁別人口世帯の動向 | ----- | 2 |
| 図2 町丁別人口の動向 | | |
| 図3 町丁別世帯数の状況 | | |
| 図4 町丁別平均世帯規模の動向 | | |
| 3. 地区の施設等の分布状況 | ----- | 3 |
| 図5 地区の施設等の分布状況 | | |
| 4. 年齢別人口と人口移動 | ----- | 4 |
| 図6 年齢5歳別の人口の変化 | | |
| 図7 年齢5歳別の人口の推移率 | | |
| 図8 年齢別人口比率の変化 | | |
| 図9 人口移動の動向 | | |
| 図10 年齢5歳別社会移動人口の動向 | | |
| 5. 世帯の状況と居住歴 | ----- | 5 |
| 図11 6歳未満の子どもがいる世帯の動向 | | |
| 図12 65歳以上の高齢者がいる世帯の動向 | | |
| 図13 住宅の所有関係別の世帯の動向 | | |
| 図14 住宅の建て方別の世帯の割合(R2) | | |
| 図15 規模別世帯の動向 | | |
| 図16 居住歴別人口の割合(R2) | | |
| 6. 地区の特徴と動向 | ----- | 7 |
| 図17 人口の動向と推計 | | |
| 図18 人口の動向と推計 年齢別比率 | | |

● 連合町内会エリアと地区別データ集



*人口等の統計データは町丁目を単位に集計されたデータを活用しています。

*町丁目の境界線が複数の区域にわたる場合は、町丁目の区域を単位としていずれかの区域に含まれるものとして集計しました。

*比率は小数点以下2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

I 金沢区の概況

1. 概況 (1) 人口、世帯数、年齢別人口

金沢区には、令和2年10月1日時点で198,939人が暮らしています。世帯数は、89,869世帯、平均世帯規模は2.21人/世帯です。(表1参照)

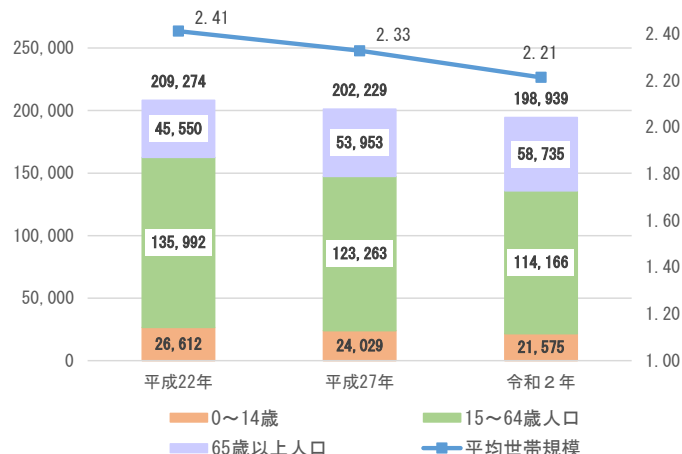
人口は、平成22年から微減傾向が続き、平成22年から平成27年の5年間に7,045人減、平成27年から令和2年の5年間は3,290人減少しています。(表1参照)

世帯数は、平成22～令和2年の期間増加が続いており、増加数は平成22～27年で118世帯、平成27～令和2年で2,978世帯となっています。(表1参照)

平均世帯規模は縮小傾向が続いていますが、令和2年時点では、市の平均(2.15人/世帯)を0.06上回っています。(表1参照)

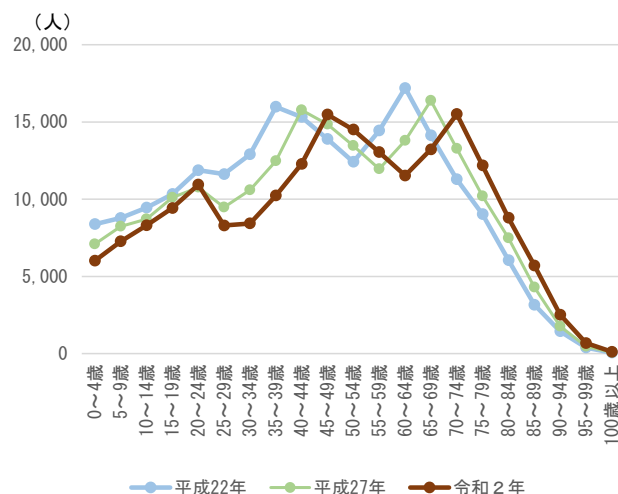
人口全体の変化は穏やかですが、65歳以上の人口の増加と同時に20～30歳代の人口が減少し、居住者の年齢構成の変化や高齢化が進んでいます。(表1、図2参照)

図1 人口、世帯数、平均世帯規模の動向



*国勢調査による(各年10月1日現在)。

図2 年齢5歳別人口の動向



*国勢調査による(各年10月1日現在)。

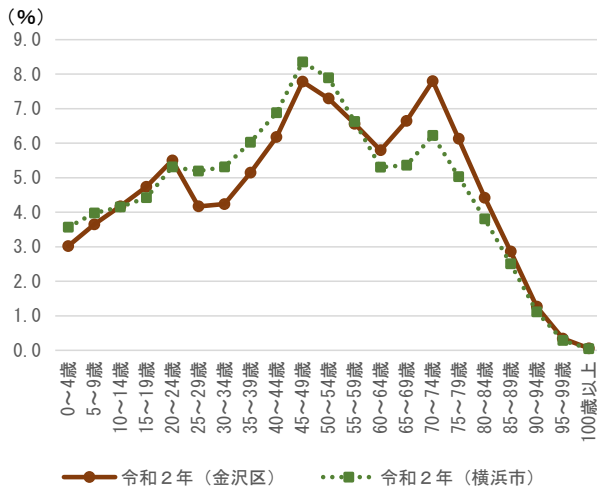
表1 人口、世帯数、年齢別人口等の動向

| | 平成22年 | 平成27年 | 令和2年 | 平成22～27年増減数 | 平成27～令和2年増減数 | 平成27年比率 | 令和2年比率 | 令和2年横浜市比率 |
|---------------|---------|---------|---------|-------------|--------------|---------|--------|-----------|
| 人口 (人) | 209,274 | 202,229 | 198,939 | ▲ 7,045 | ▲ 3,290 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 0~14歳 (人) | 26,612 | 24,029 | 21,575 | ▲ 2,583 | ▲ 2,454 | 11.9 | 10.8 | 11.7 |
| (内0~4歳) (人) | 8,378 | 7,083 | 6,012 | ▲ 1,295 | ▲ 1,071 | 3.5 | 3.0 | 3.6 |
| 15~64歳人口 (人) | 135,992 | 123,263 | 114,166 | ▲ 12,729 | ▲ 9,097 | 61.0 | 57.4 | 61.3 |
| (内20~24歳) (人) | 11,878 | 10,765 | 10,942 | ▲ 1,113 | 177 | 5.3 | 5.5 | 5.3 |
| (内25~39歳) (人) | 40,507 | 32,555 | 26,958 | ▲ 7,952 | ▲ 5,597 | 16.1 | 13.6 | 16.5 |
| 65歳以上人口 (人) | 45,550 | 53,953 | 58,735 | 8,403 | 4,782 | 26.7 | 29.5 | 24.4 |
| (内65~74歳) (人) | 25,420 | 29,673 | 28,738 | 4,253 | ▲ 935 | 14.7 | 14.4 | 11.6 |
| (内75~84歳) (人) | 15,076 | 17,683 | 20,978 | 2,607 | 3,295 | 8.7 | 10.5 | 8.8 |
| (内85歳以上) (人) | 5,054 | 6,597 | 9,019 | 1,543 | 2,422 | 3.3 | 4.5 | 4.0 |
| 世帯数 (世帯) | 86,773 | 86,891 | 89,869 | 118 | 2,978 | - | - | 1,753,081 |
| 平均世帯規模 (人/世帯) | 2.41 | 2.33 | 2.21 | - | - | - | - | 2.15 |

*国勢調査による(各年10月1日現在)。

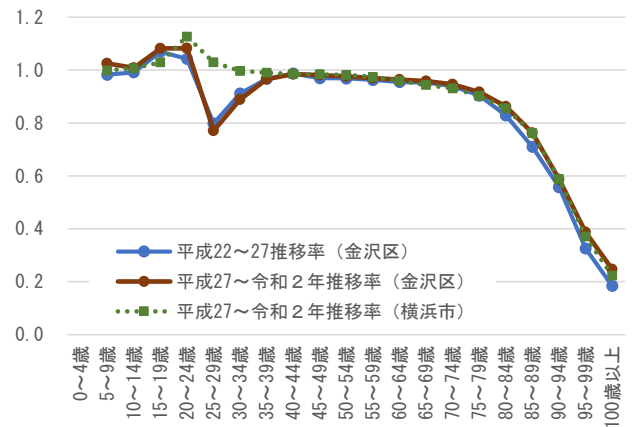
2. 概況（2）年齢別人口の動向と人口移動

図3 年齢5歳別人口構成の比較（令和2年）



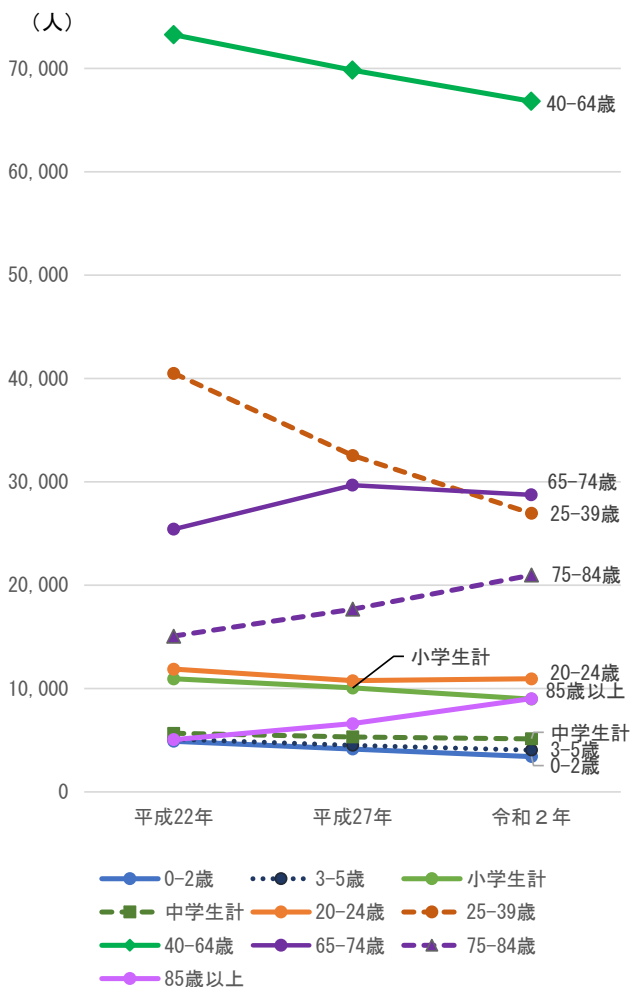
*国勢調査による(各年10月1日現在)。

図4 年齢5歳階級別人口の推移率（対前5年）



*国勢調査による(各年10月1日現在)。

図5 年齢別人口の動向



*国勢調査による(各年10月1日現在)。

令和2年の年齢別人口の構成を横浜市全体と比較すると、60歳以上の人口が多く、25～54歳や0～9歳の人口が少なくなっています。(図3参照)

金沢区の人口の推移率は、平成22～27年、平成27～令和2年で大きな変化は見られず、10～24歳はわずかに転入増加になっているものの、25～29歳を中心に、幅広い年齢層で転出による減少傾向が続いており人口が減少していることがわかります。(図4参照)

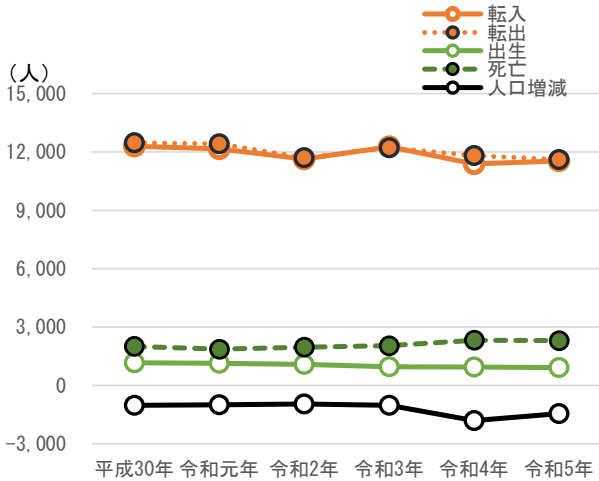
20～24歳は、緩やかな転入増加があるものの、20～24歳になる人口が少なくなる傾向が続いているため、結果的にほぼ横ばいもしくは緩やかな減少が続いています。

25～39歳の人口は区外へ転出減少する傾向が強いため、減少が続いています。

65～74歳の人口は平成27～令和2年は減少に転じていますが、75～84歳と85歳以上の人口は増加傾向が続いています。(図5参照)

3. 概況 (3) 人口移動と人口の推計

図6 人口移動（転出入と出生死亡）の動向



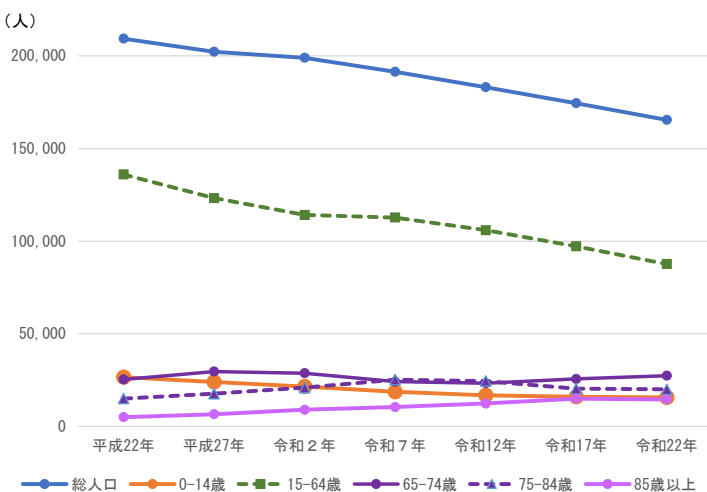
*平成30～令和5年の人口異動集計結果による。

金沢区の出生数は平成30年の1,165人から減少が続き、令和5年の出生数は916人となっています。死亡数は2,000人前後で微増しています。一方、転入、転出は12,000人前後で推移し、自然増減に比べて社会増減が遥かに多いことがわかります。(図6参照)

年齢5歳階級別に平成30年と令和5年の転入、転出をみると、共通して15～19歳に転入が多く、25～29歳の転出が多いことが分かります。(図7参照)

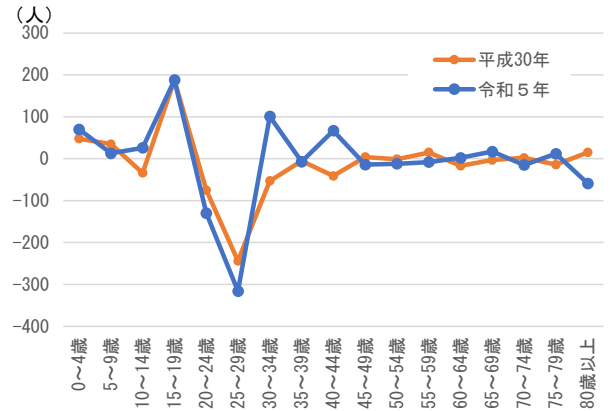
令和5年の年間転入人口(区内移動を含む)は11,550人、転出人口は11,615人でした。転入、転出の結果の人口増減は65人の転出超過でした。(図6参照)

図8 年齢別人口の動向と推計



*令和7年以降が推計値。人口推計は、国土技術政策総合研究所による(国勢調査を用いたコーホート変化率法)。

図7 年齢別社会移動の動向

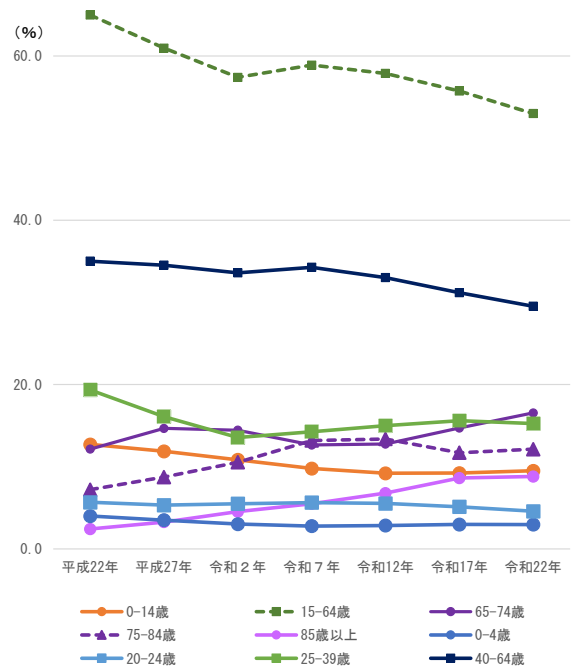


*平成30～令和5年の人口異動集計結果による。

平成22年以降の人口の動向と推計をみると、緩やかな減少傾向が続き、特に生産年齢人口(15～64歳)が減少していくと推計されます。(図8参照)

年齢別の割合をみると、平成22年には生産年齢人口(15～64歳)は65.0%、高齢人口(65歳以上)は21.8%でしたが、令和2年には生産年齢人口は57.4%、高齢人口は29.5%となりました。今後の推計では、令和7年以降は高齢人口が30%を超え、少子高齢化が進むと推計されます。(表1、図9参照)

図9 年齢別人口の動向と推計(比率)

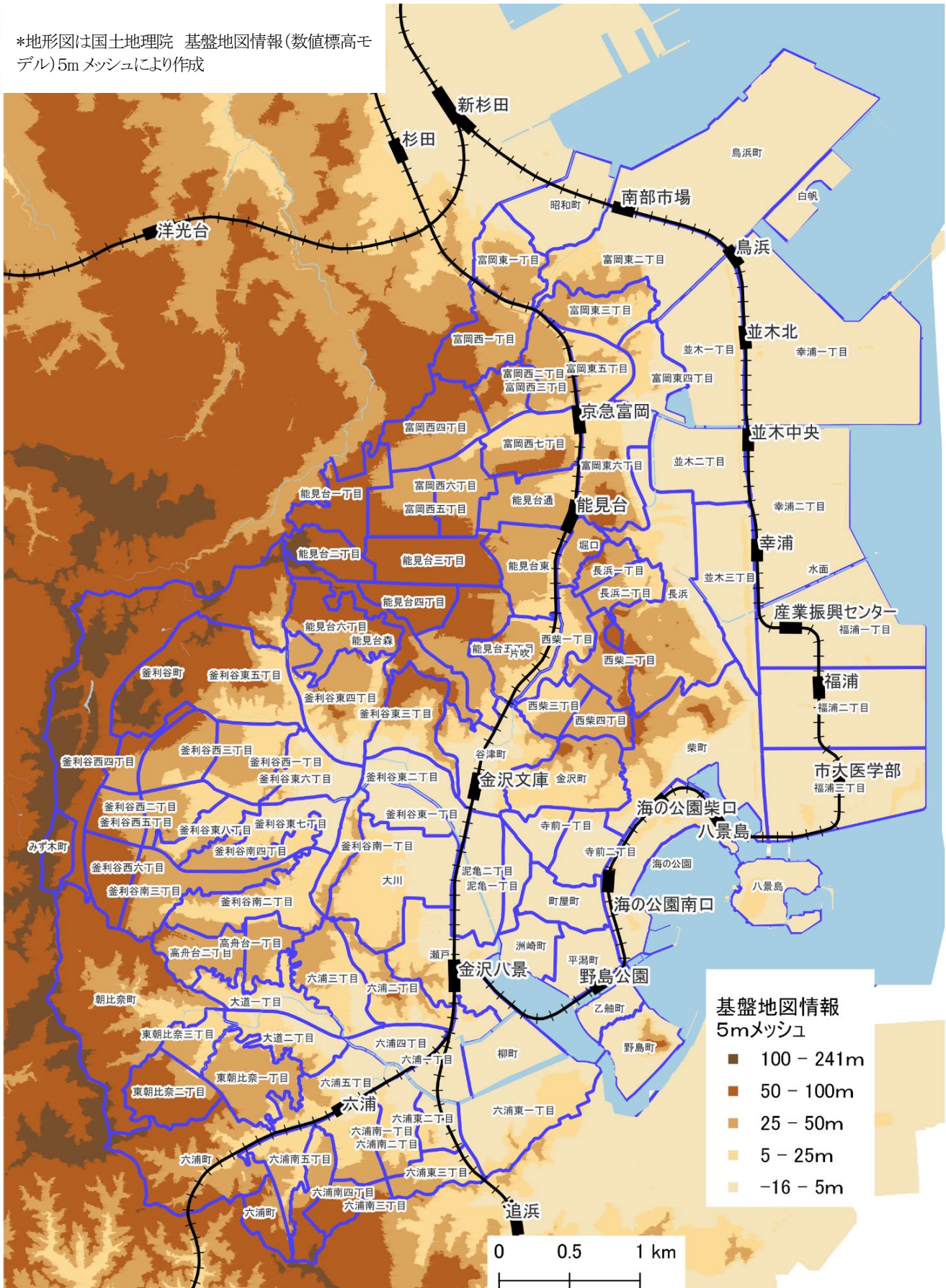


*令和7年以降が推計値。人口推計は、国土技術政策総合研究所による(国勢調査を用いたコーホート変化率法)。

4. 地形とまち（町丁目）の位置

図 10 地形とまち（町丁目）の位置

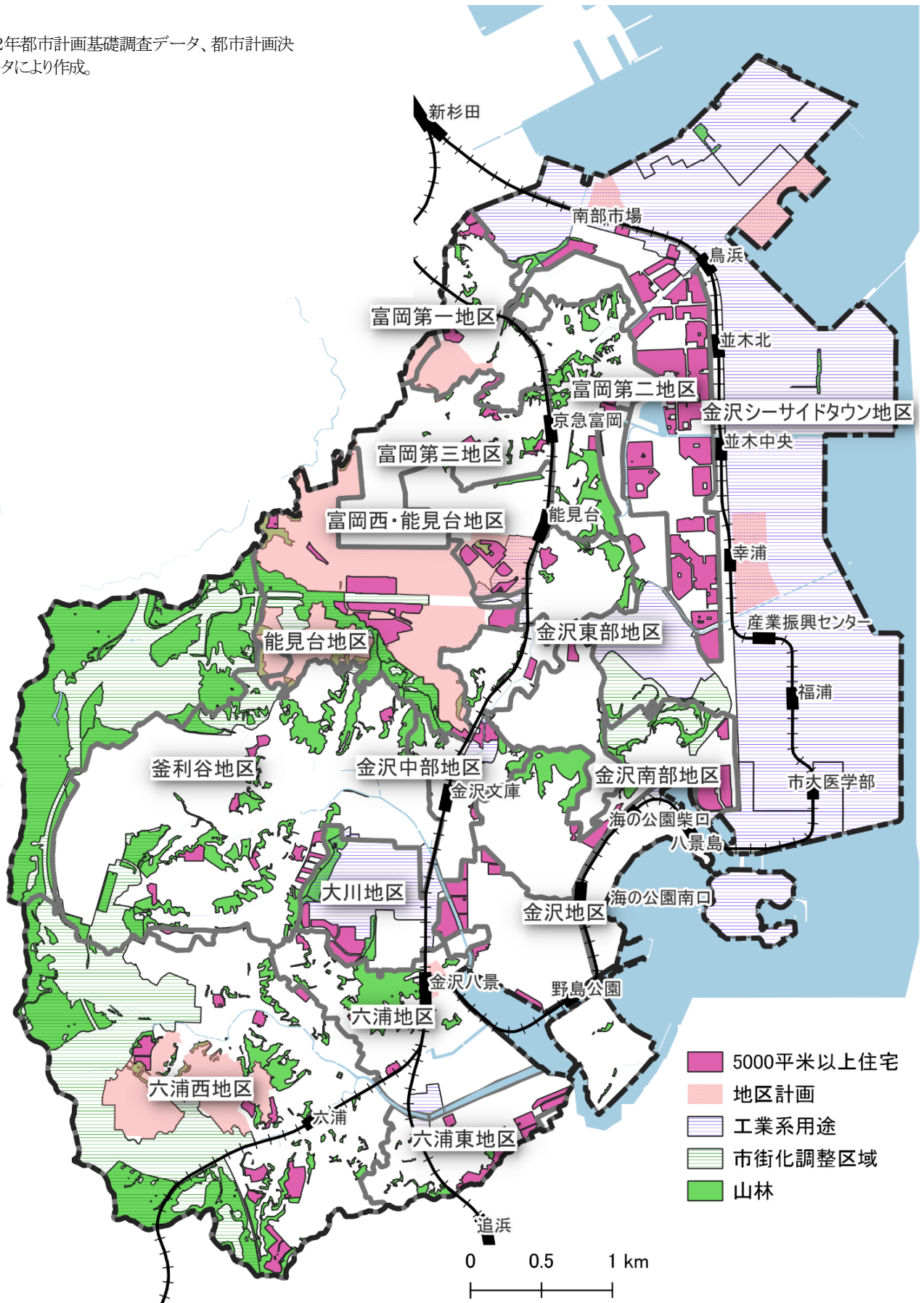
*地形図は国土地理院 基盤地図情報(数値標高モデル)5mメッシュにより作成



5. 地域の構成

図 11 地域の構成

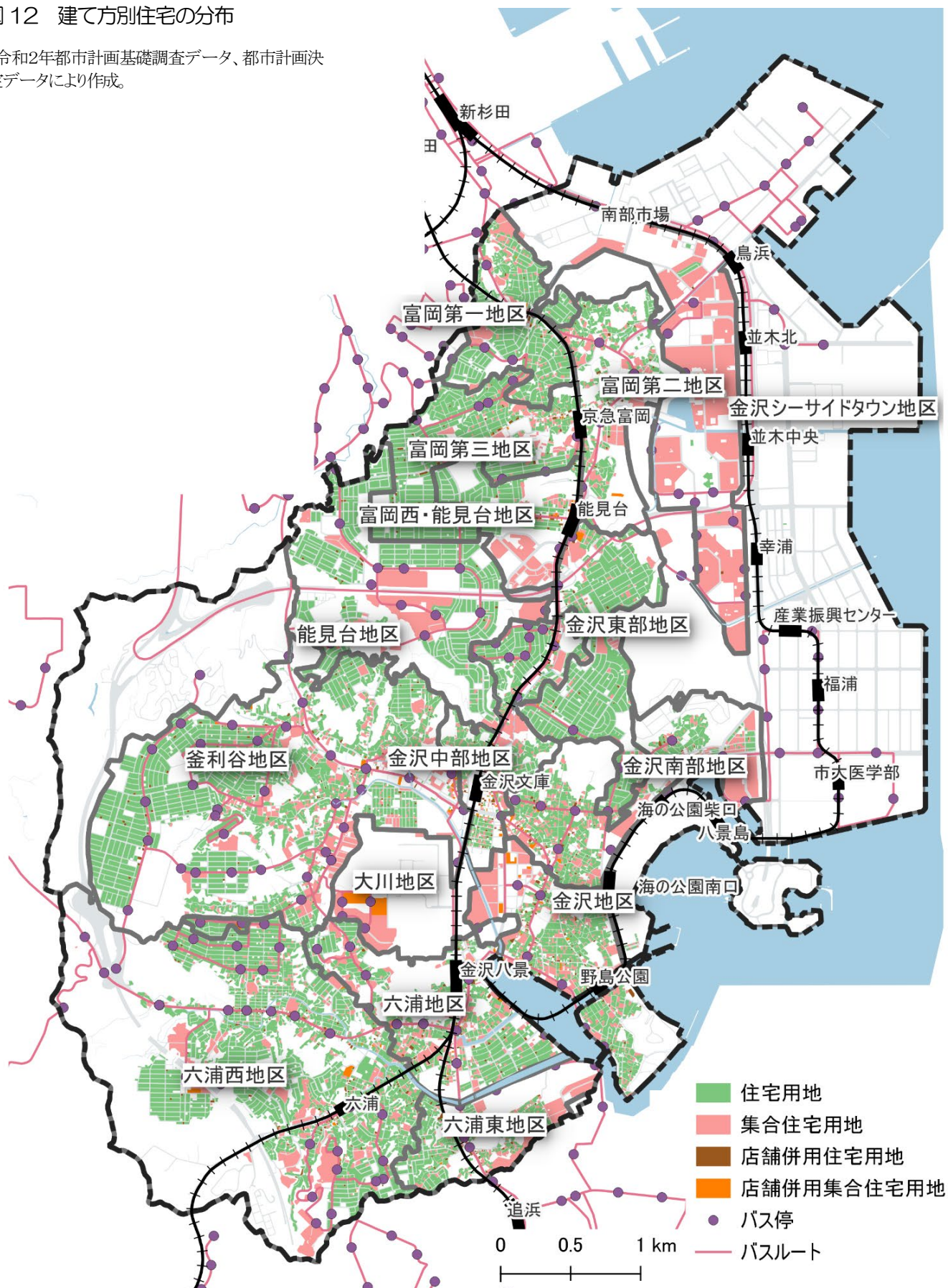
*令和2年都市計画基礎調査データ、都市計画決定データにより作成。



6. 住宅（1）建て方別住宅の分布

図12 建て方別住宅の分布

*令和2年都市計画基礎調査データ、都市計画決定データにより作成。



【横浜市地形図複製承認番号 令6建都計第9016号】

7. 住宅（2）住宅の所有関係別居住世帯の比率

*令和2年国勢調査結果による。

図 13 持家に住む世帯の比率

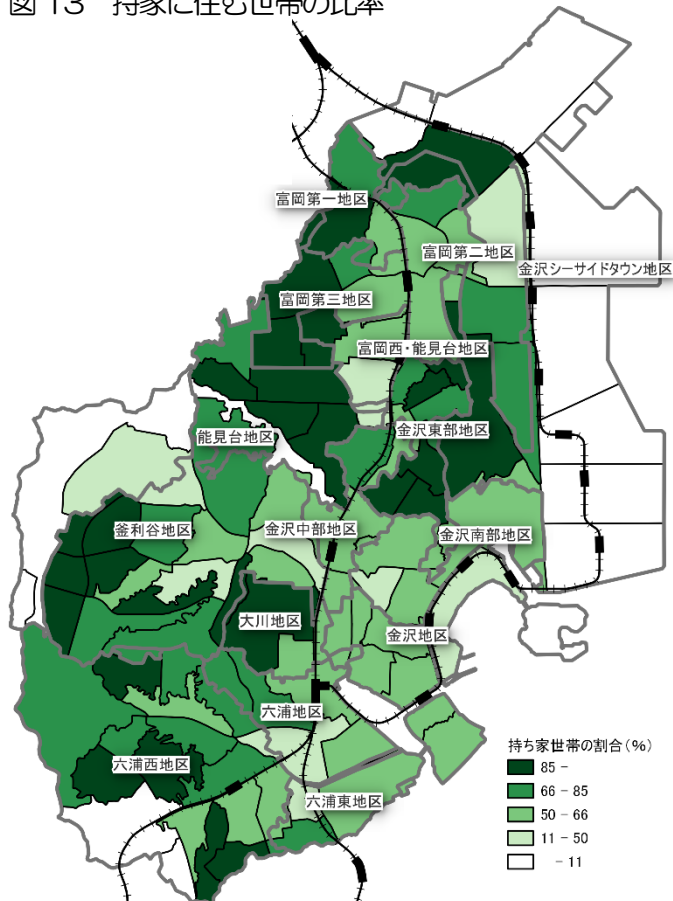


図 14 民間の借家に住む世帯の比率

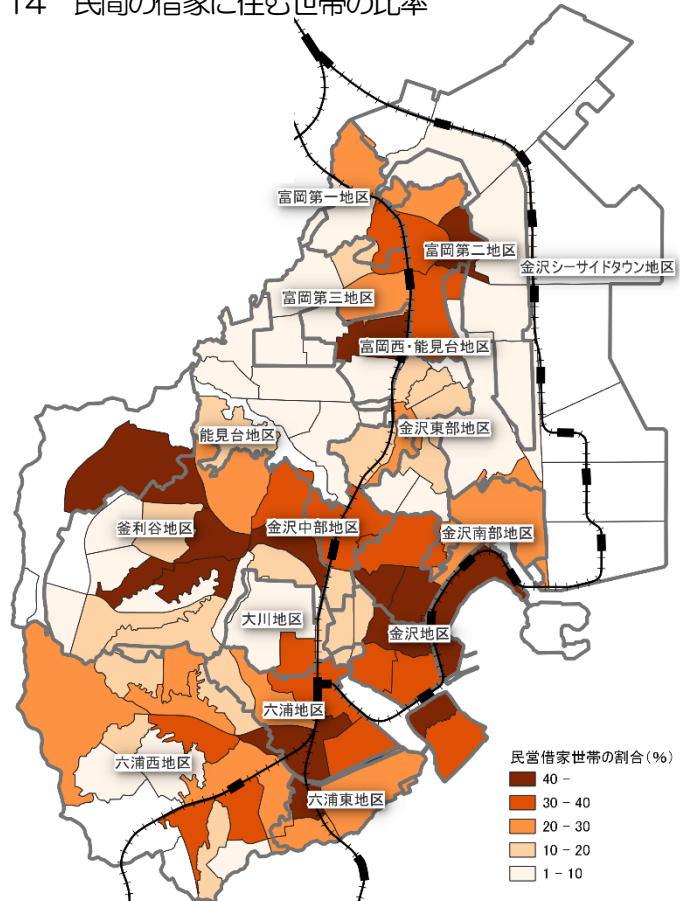


図 15 公的な借家に住む世帯の比率

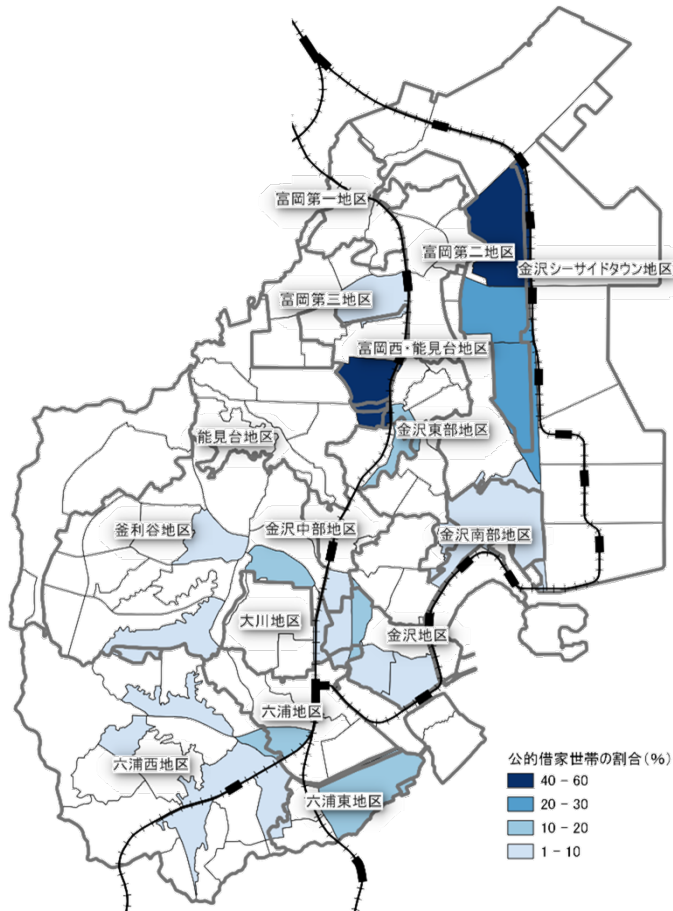
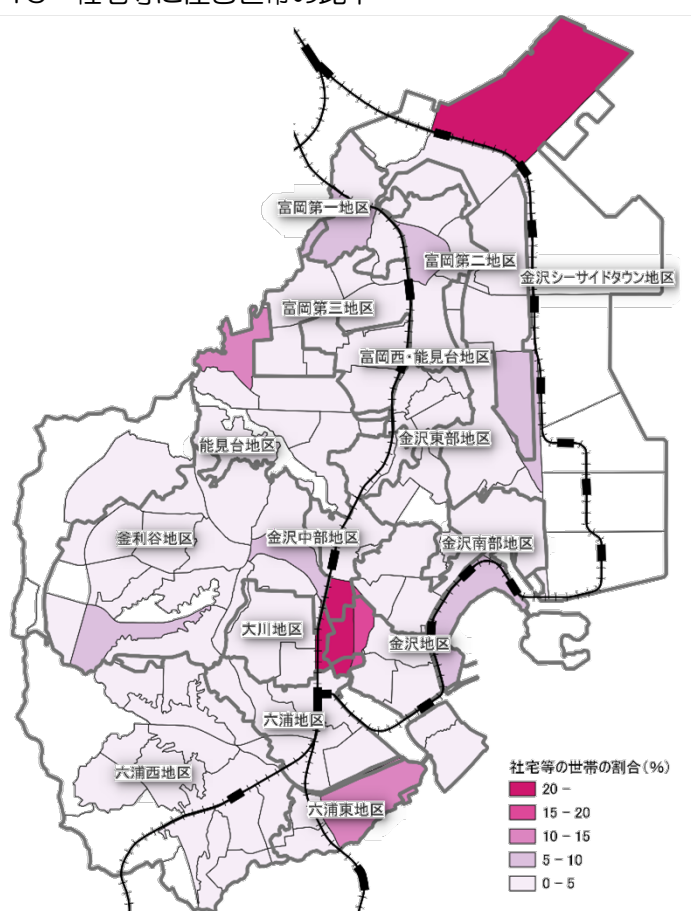


図 16 社宅等に住む世帯の比率



8. 子育て世代と就学前の子ども *国勢調査による。令和2年10月1日現在

図 17 子育て世代（25～39歳）の比率（R2）

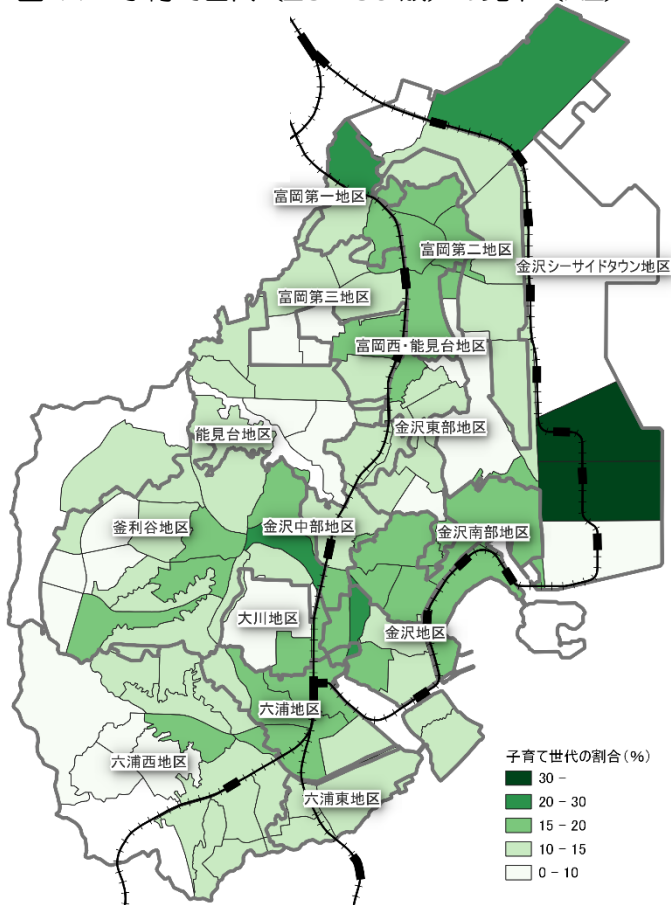
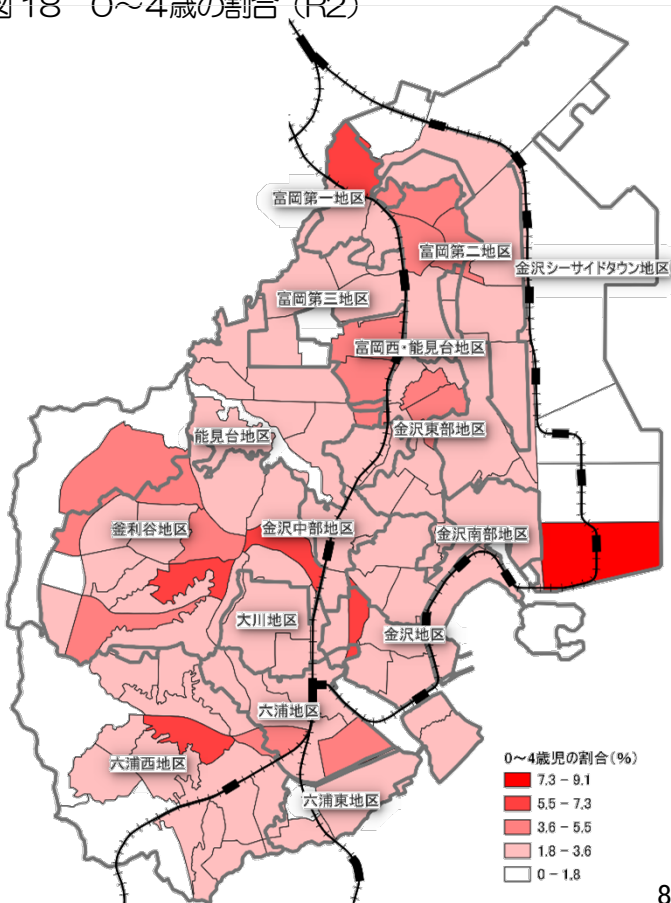


図 18 0～4歳の割合（R2）



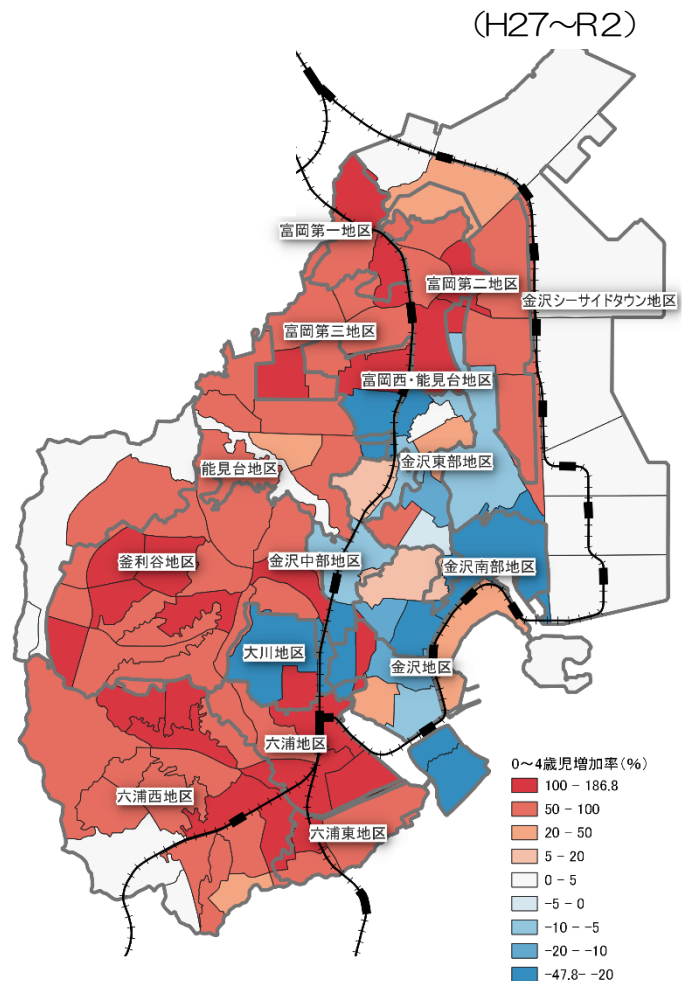
令和2年10月1日時点で、区内に住む25～39歳の子育て世代の人口は26,958人です。総人口の13.6%を占めています。(表1参照)

子育て世代の人口は、平成22年に35～39歳だった世代が45～49歳になり子育て期を抜けはじめていること、転出減少の傾向があることから、平成22～令和2年の期間で13,549人減少しました。(表1、図2、4、5、7参照)

0～4歳の人口は、6,012人です。総人口の3.0%を占めています。0～4歳の人口も平成22～令和2年の期間で1,071人減少しました。(表1参照)

*子育て世代:保育の必要な0～4歳の未就学児童の分布や動向を把握するため、第1子を産む比率が高い25～39歳の年齢の女性と、同じ年齢の男性を子育て世代として集計しました。

図 19 0～4歳の増加率



9. 未就学児と児童・生徒

*国勢調査による。令和2年10月1日現在

図20 0～4歳の密度 (R2)

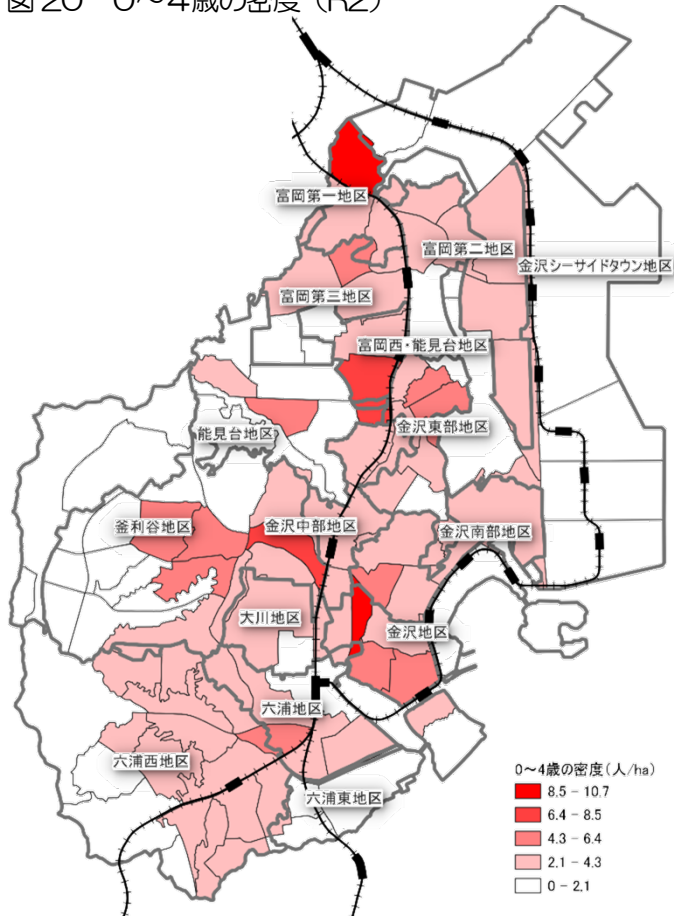


図21 5～9歳の密度 (R2)

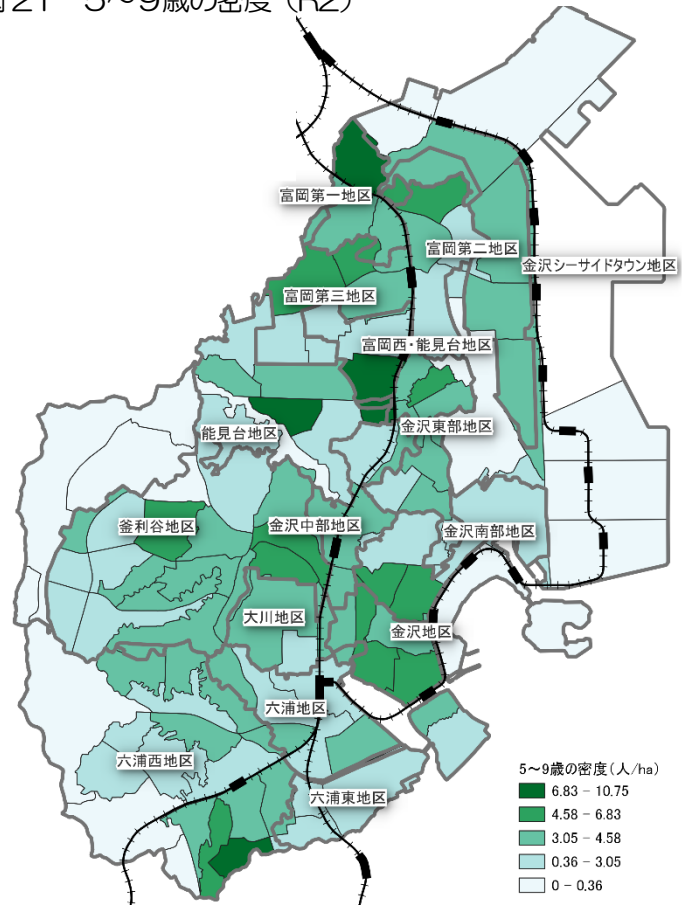


図22 10～14歳の密度 (R2)

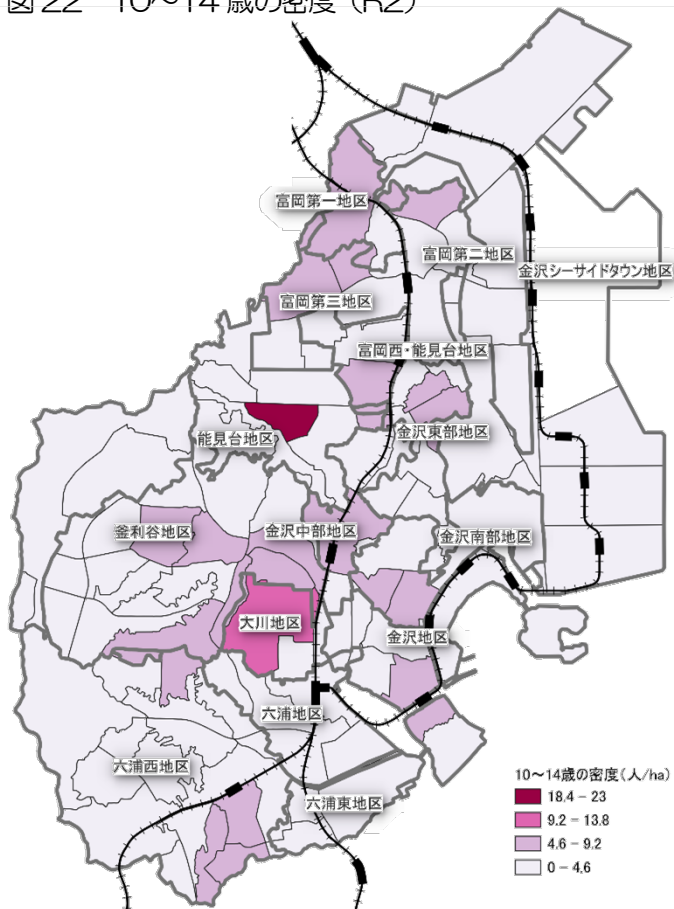
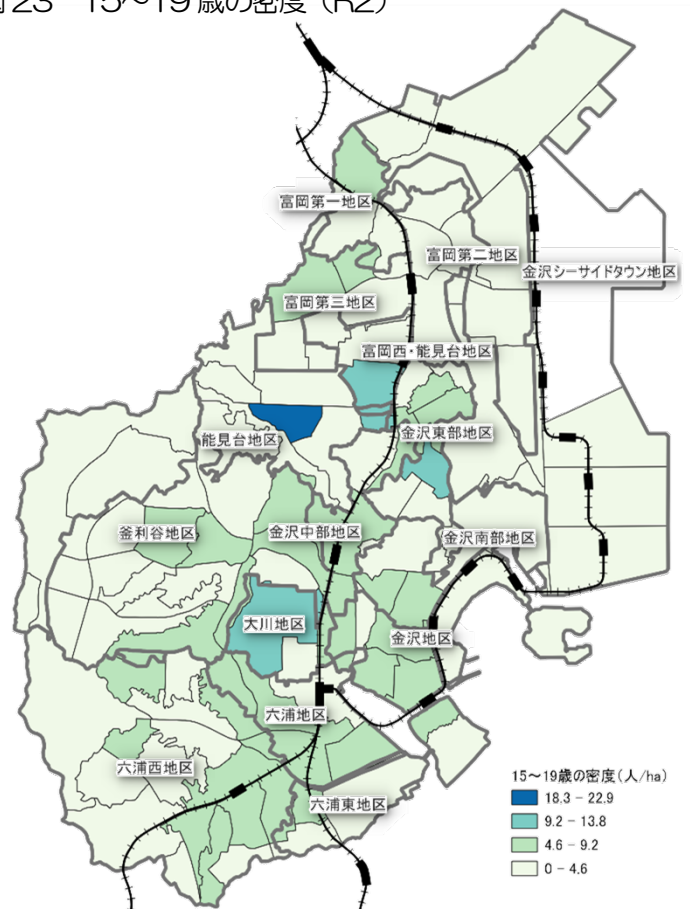
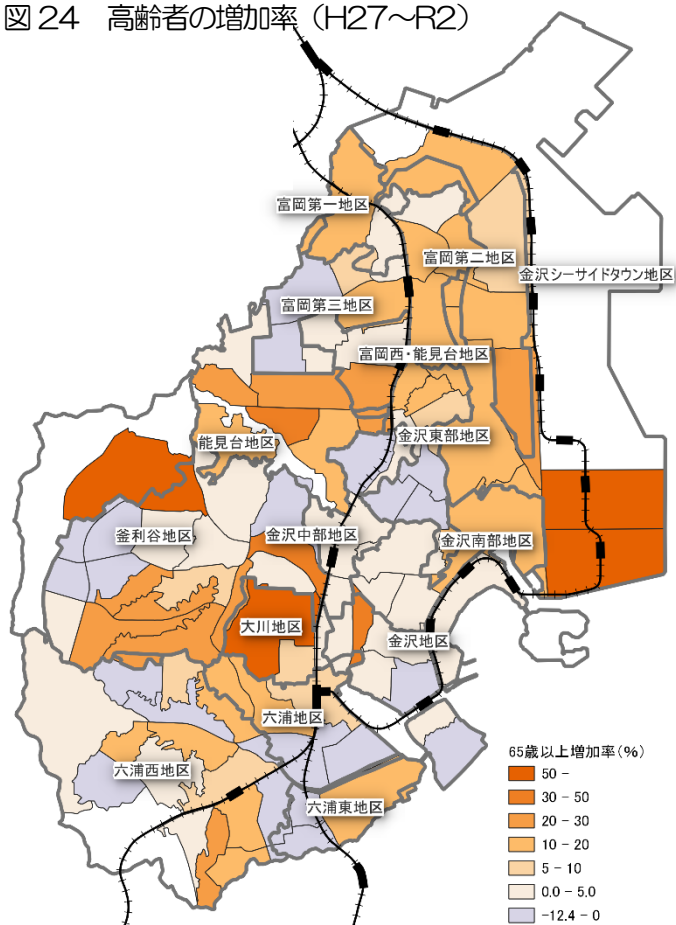


図23 15～19歳の密度 (R2)



10. 高齢者の動向、高齢者世帯の分布 *国勢調査による。各年10月1日現在

図 24 高齢者の増加率 (H27~R2)



令和2年 10月1日時点で、65歳以上の高齢者は約58,735人です。金沢区の高齢化率は29.5%で、横浜市の高齢化率(24.4%)を5.1ポイント上回っています。平成27~令和2年の期間に4,782人増加し、高齢化率は5年間で約2.8ポイント上昇しました。(表1参照)

75歳以上の後期高齢者は約29,997人です。75歳以上の高齢者の比率は15.0%で、横浜市の後期高齢者人口の割合(12.8%)を2.2ポイント上回っています。平成27~令和2年の期間に5,717人増加し、75歳以上の高齢者の比率は5年間で3.0ポイント上昇しました。(表1、図2、5参照)

現在の60歳代の人口に比べて50歳代の人口が少なく、今後高齢者になる人口が少し減少するので、今後、高齢者の増加傾向は若干鈍化します。

75歳以上の人口は、今後75~79歳になる人口が増加するので、現在の増加傾向が続くと考えられます。

(図3、5、8、9参照)

図 25 高齢単身世帯の密度 (R2)

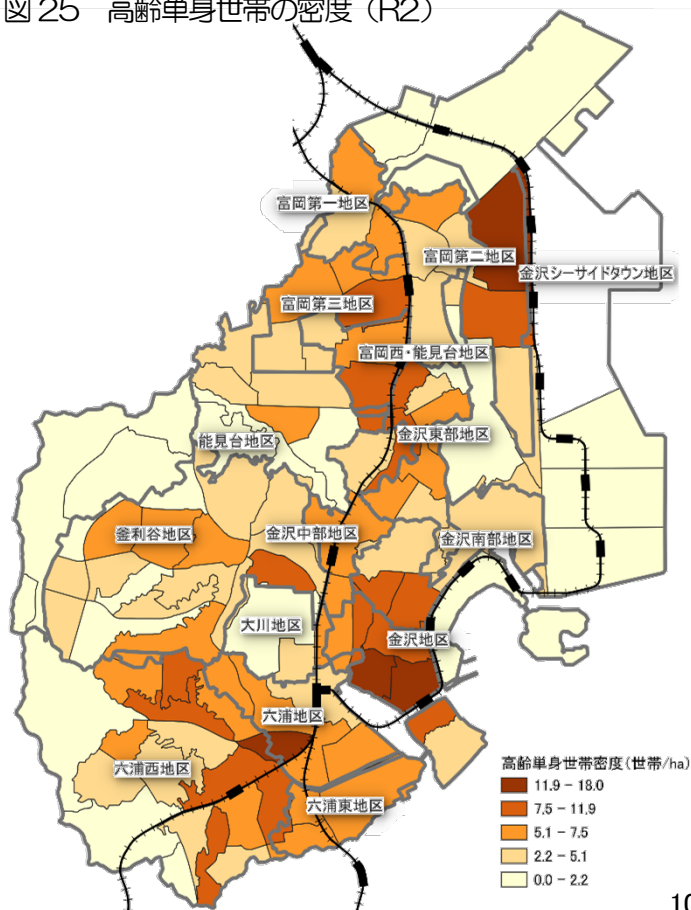
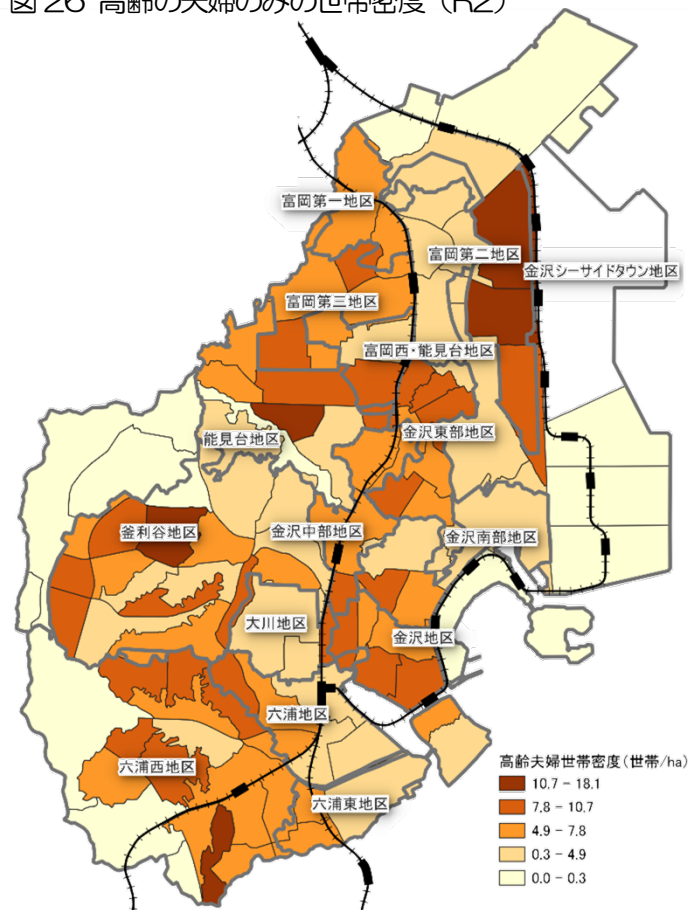


図 26 高齢の夫婦のみの世帯密度 (R2)



11. 避難場所等

図 27 避難場所等の配置

*施設の種類の位置は金沢区資料、「金沢区防災マップ」(令和6年4月)により作成。

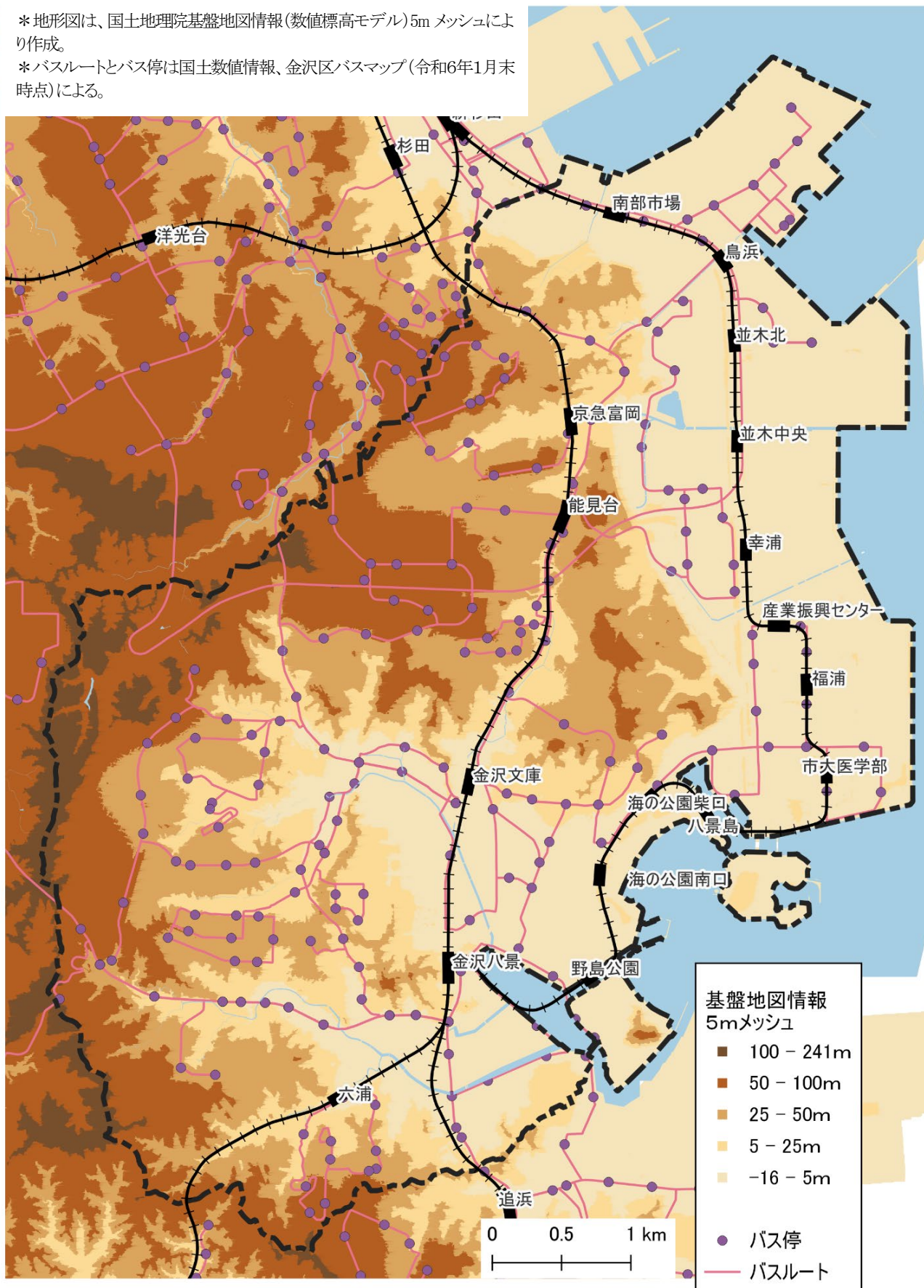
*道路、土地利用等は令和2年都市計画基礎調査結果により作成



12. 地形と鉄道、バスによる交通ネットワーク

図28 地形と鉄道、バスによるネットワーク

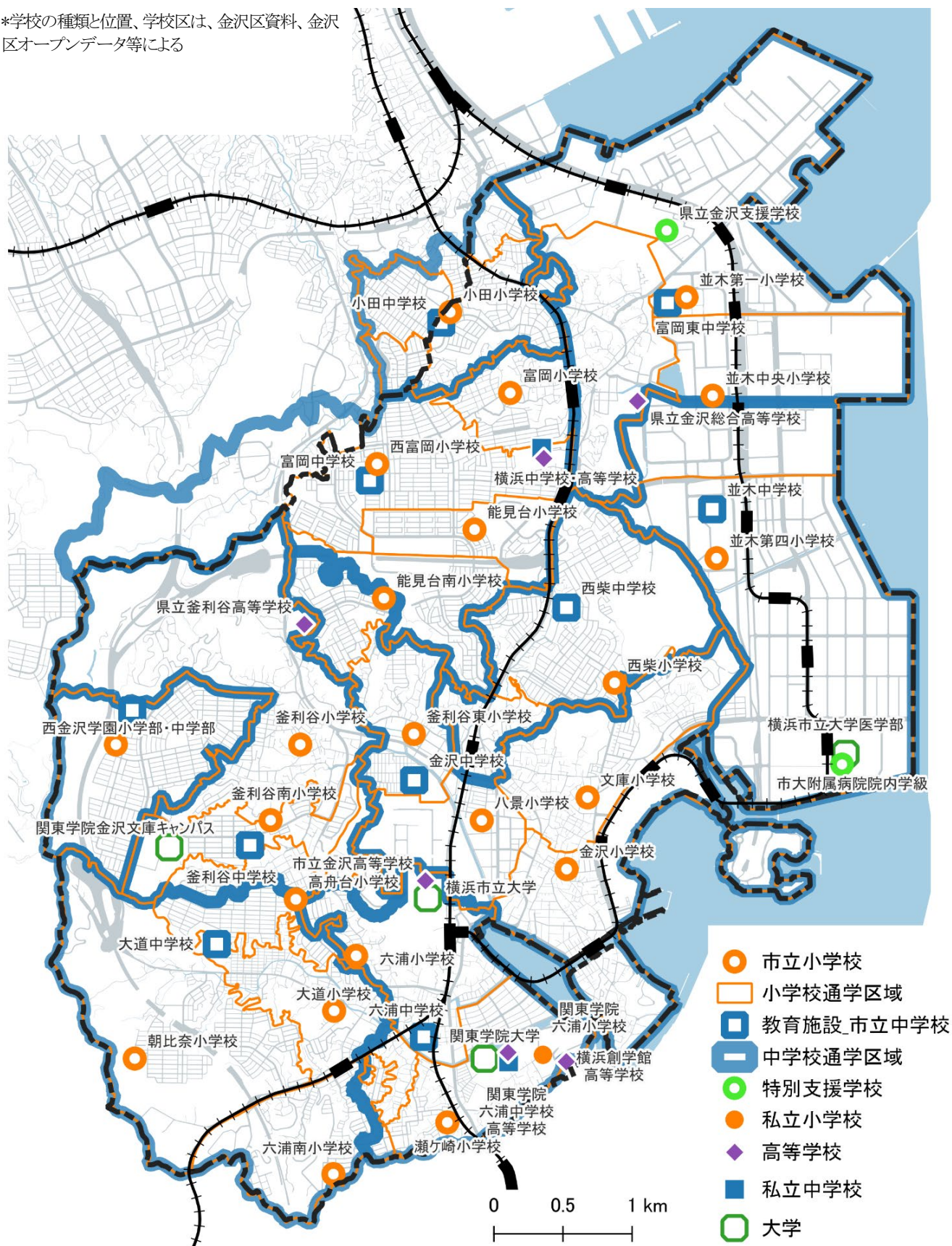
*地形図は、国土地理院基盤地図情報(数値標高モデル)5mメッシュにより作成。
 *バスルートとバス停は国土数値情報、金沢区バスマップ(令和6年1月末時点)による。



13. 教育施設

図 29 教育施設の分布と学校区

*学校の種類と位置、学校区は、金沢区資料、金沢区オープンデータ等による

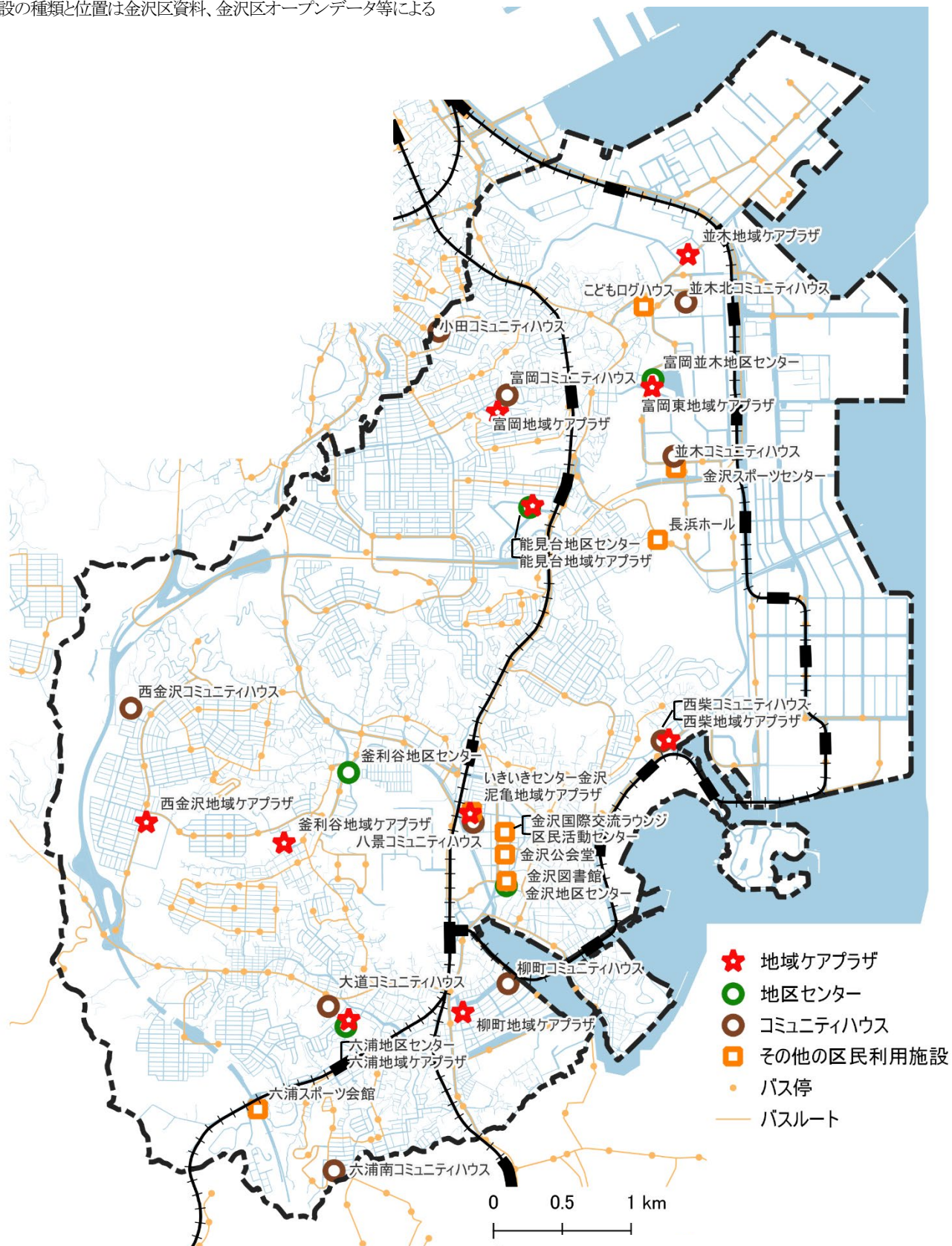


【横浜市地形図複製承認番号 令6建都計第9016号】

14. 区民利用施設

図 30 区民利用施設の分布

*施設の種類の位置は金沢区資料、金沢区オープンデータ等による



Ⅱ 地区の特性と比較

1. 地区別人口と世帯の動向 (1)

*国勢調査による(各年10月1日現在)。

図1 人口の動向

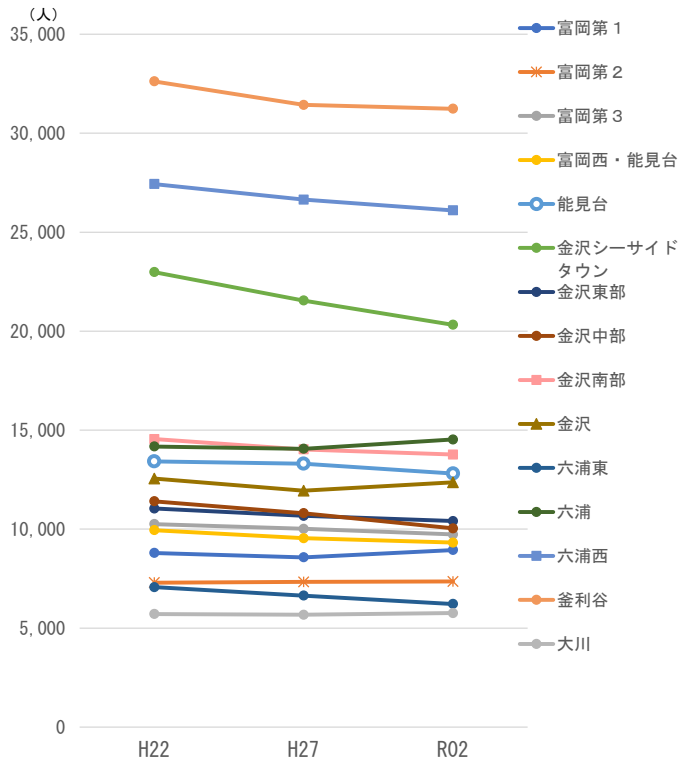


図2 世帯数の動向

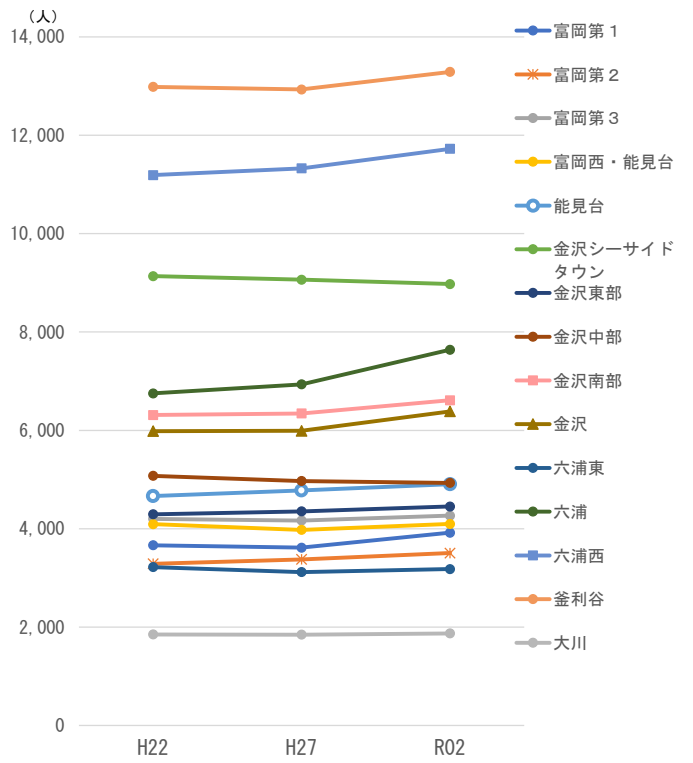


図3 人口密度 (R2)

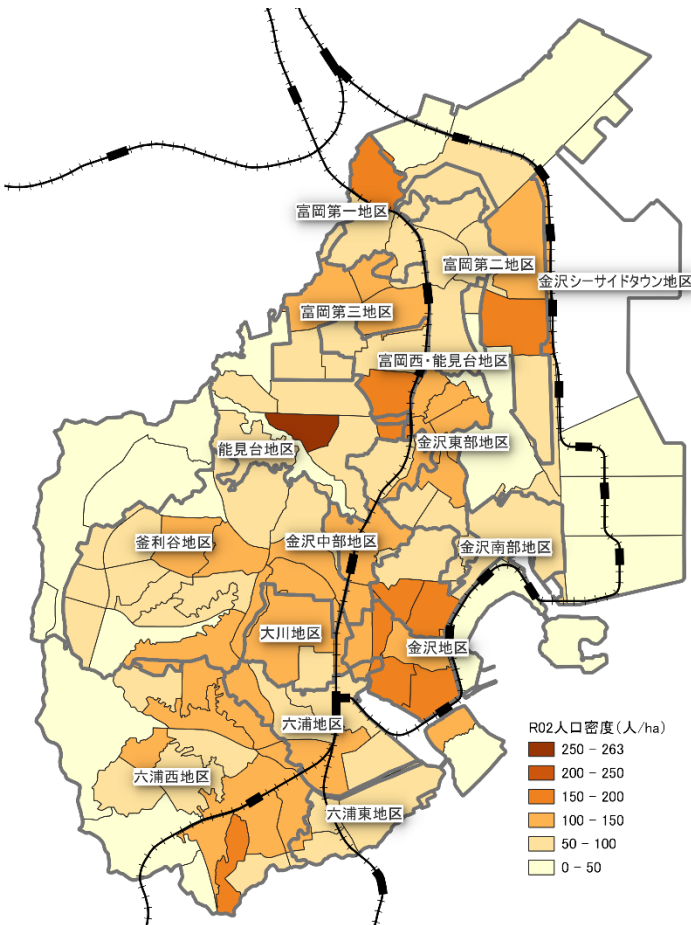
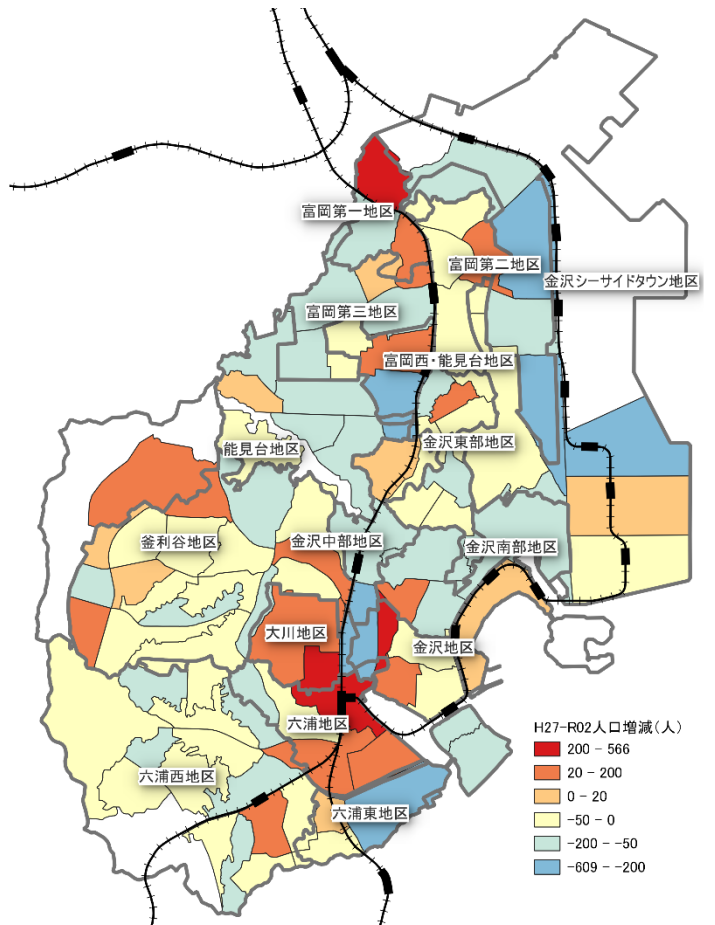


図4 人口増減 (H27~R2)



2. 地区別人口と世帯の動向 (2)

*国勢調査による(各年10月1日現在)。

図5 平均世帯規模の動向

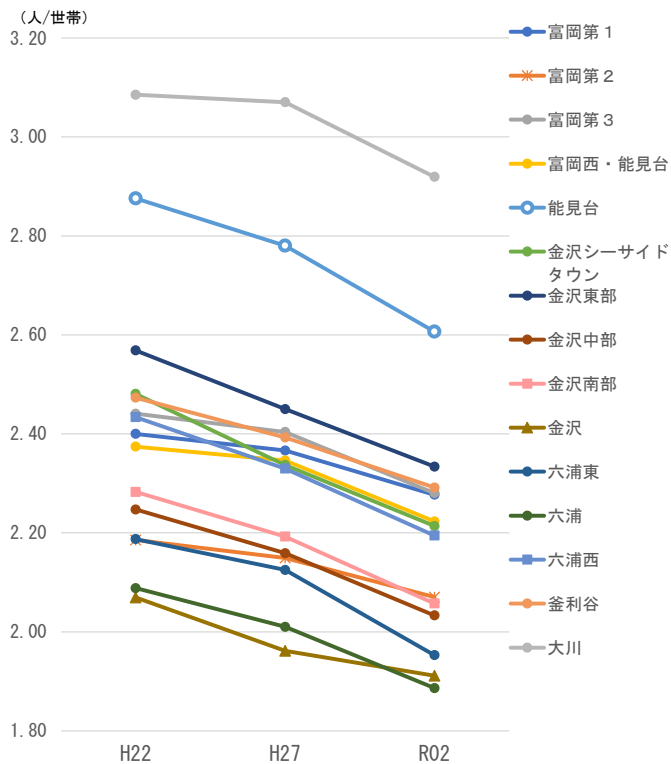
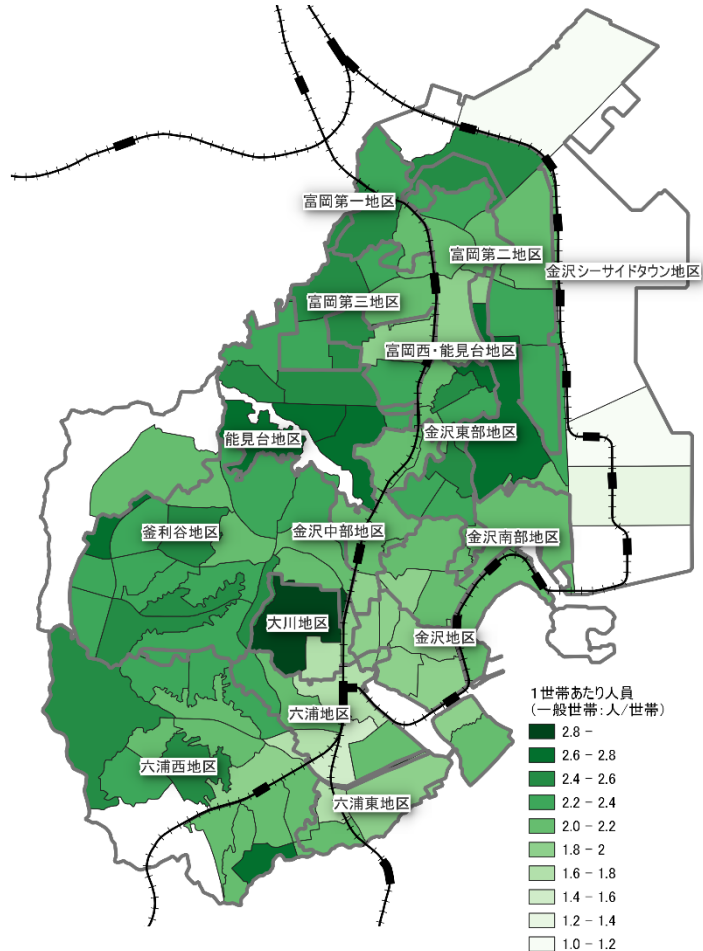


図6 平均世帯規模 (R2)



3. 地区別年齢別人口

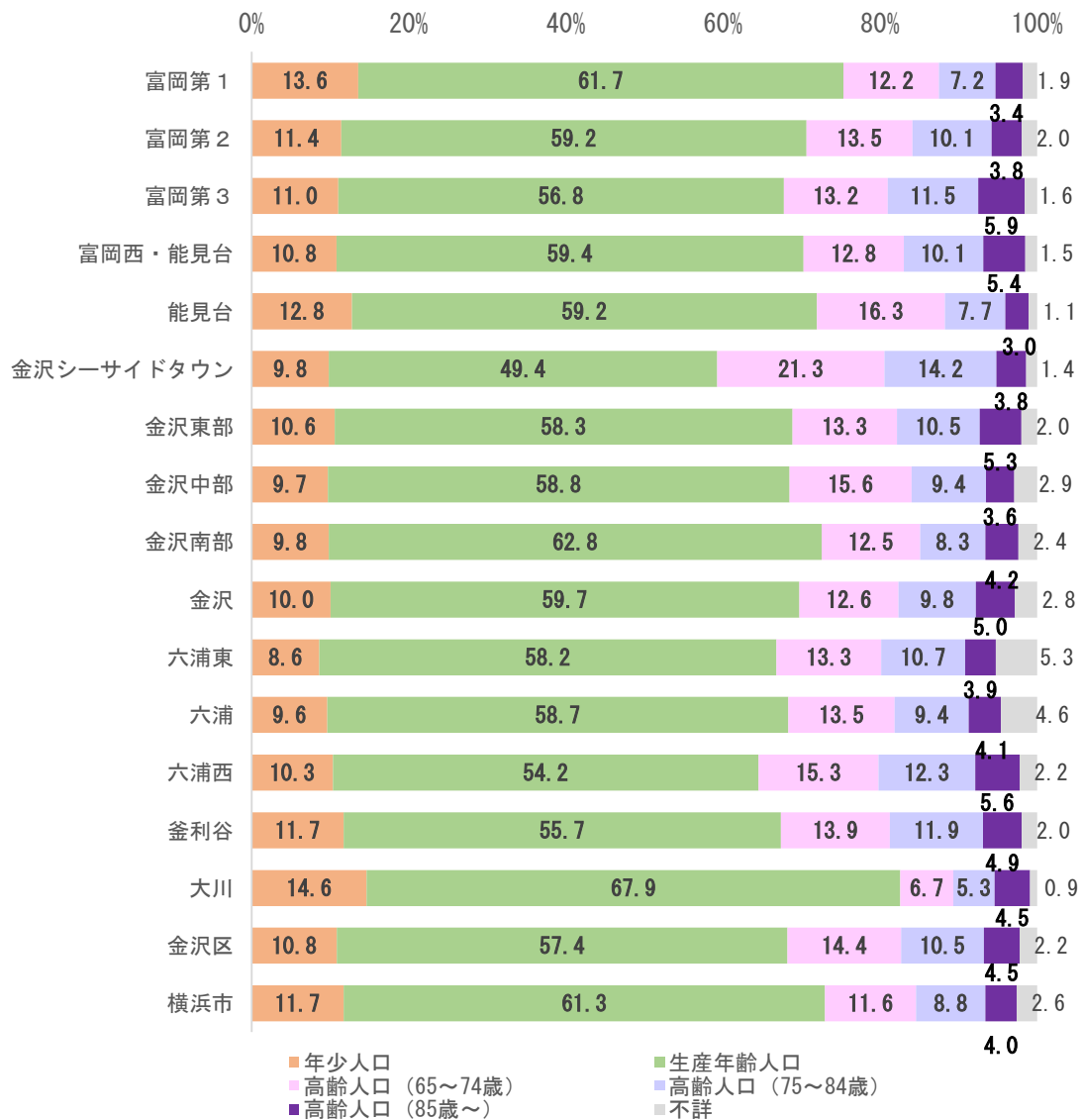
*国勢調査による(各年10月1日現在)。

年齢別人口構成をみると、年少人口比率が高い地区は大川(14.6%)、富岡第一(13.6%)、能見台(12.8%)の順になっており、いずれも金沢区や横浜市の全体の値を上回っています。

生産年齢人口が最も多い地区は大川(67.9%)で、金沢南部(62.8%)、富岡第一(61.7%)が続いています。

高齢化人口が最も多いのは金沢シーサイドタウン(39.3%)で、金沢区(29.5%)や横浜市(24.4%)を大きく上回っています。

図7 地区別年齢別人口 (R2)



4. 地区別年齢別人口の動向と分布（1）

*国勢調査による(各年10月1日現在)。

図8 0～14歳人口の動向

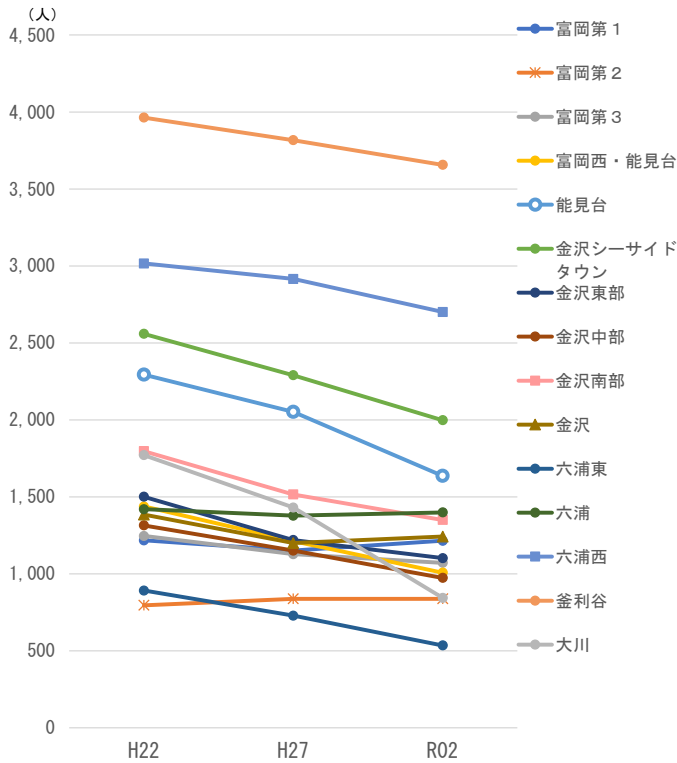


図9 0～14歳人口密度（R2）

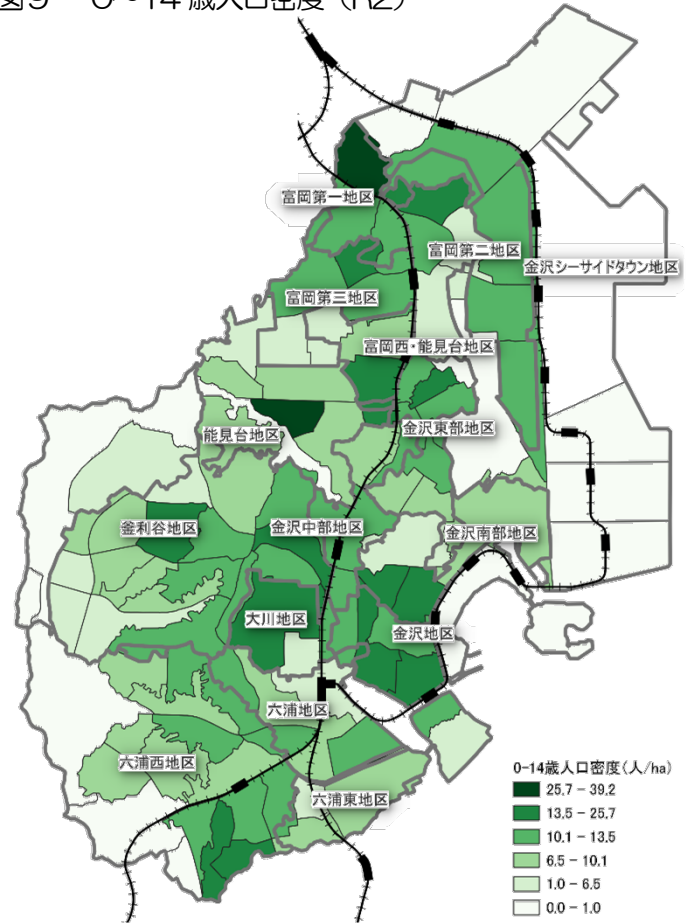


図10 15～64歳人口の動向

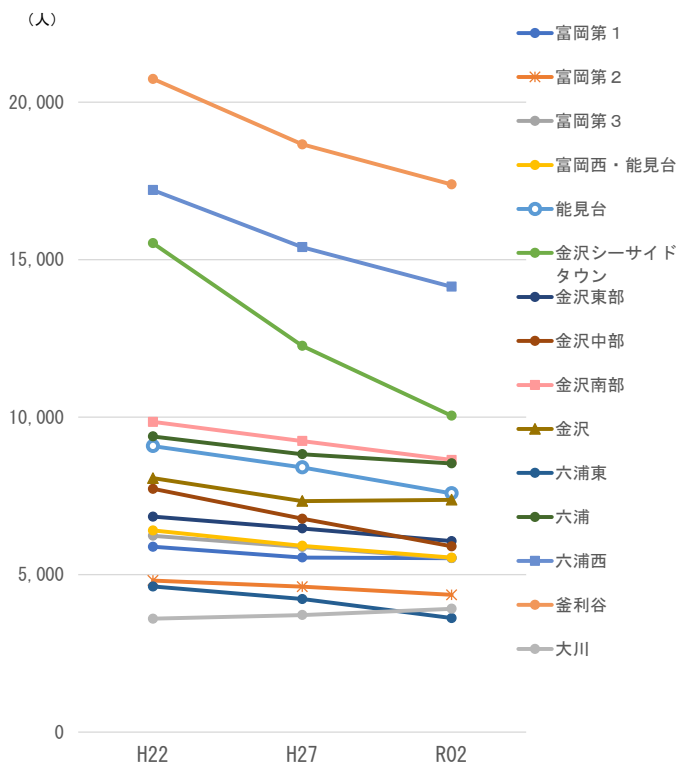
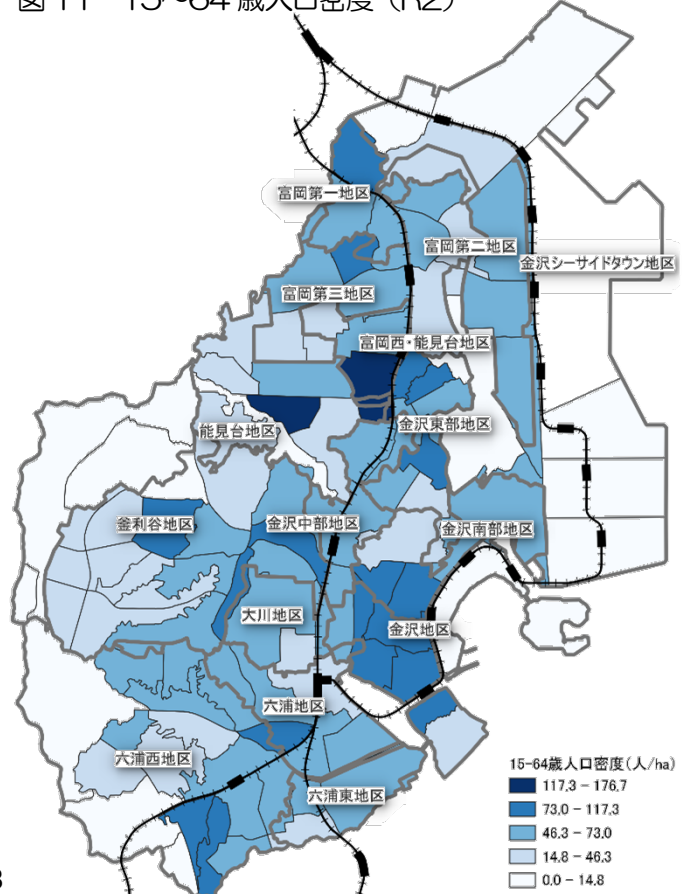


図11 15～64歳人口密度（R2）



5. 地区別年齢別人口の動向と分布（2）

*国勢調査による(各年10月1日現在)。

図12 65～74歳人口の動向

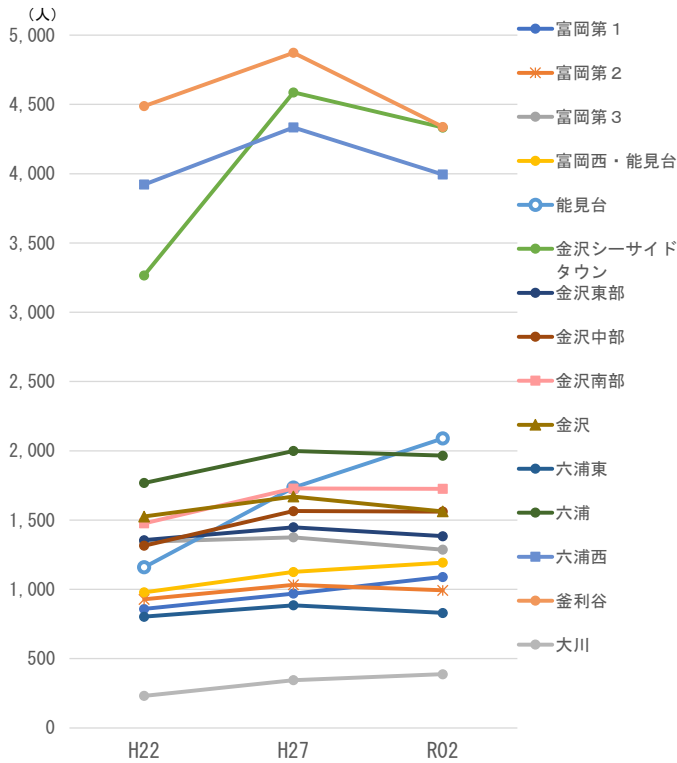


図13 65～74歳人口密度（R2）

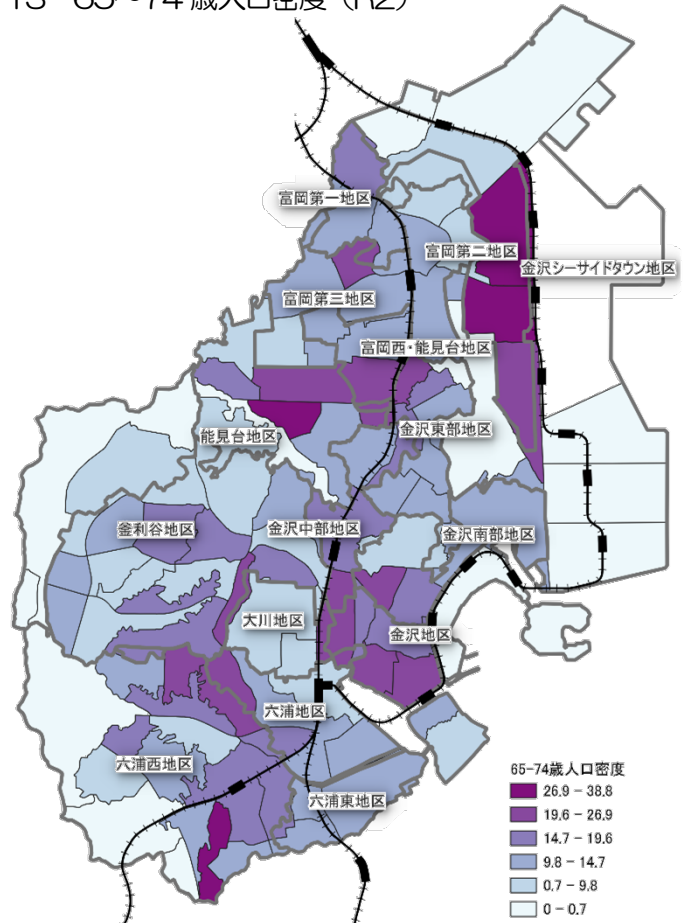


図14 75～84歳人口の動向

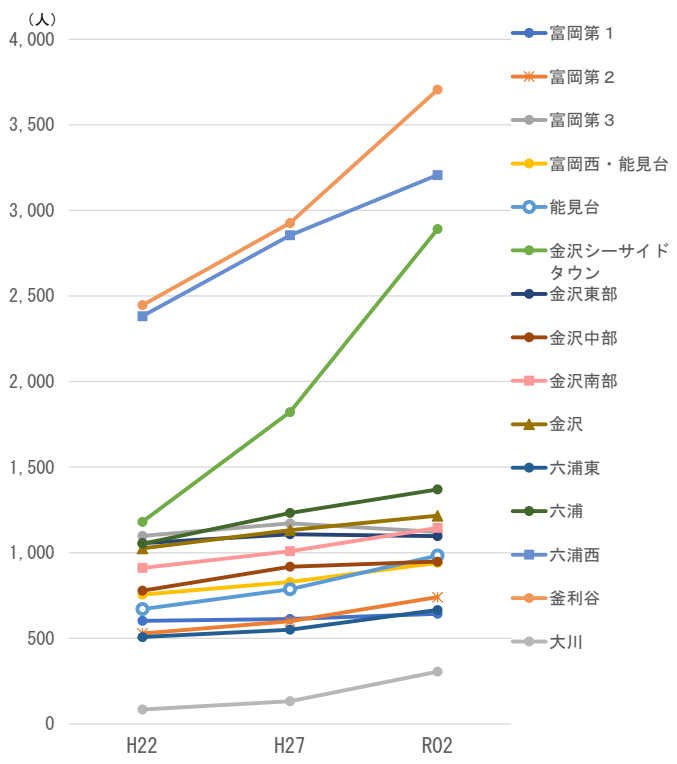


図15 75～84歳人口密度（R2）

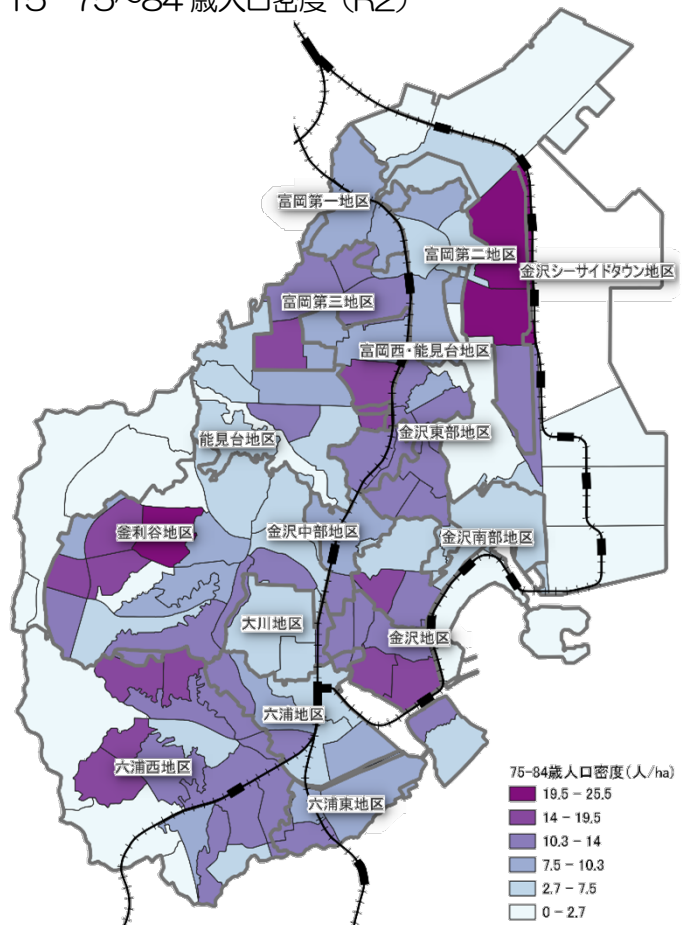


図 16 85 歳以上人口の動向

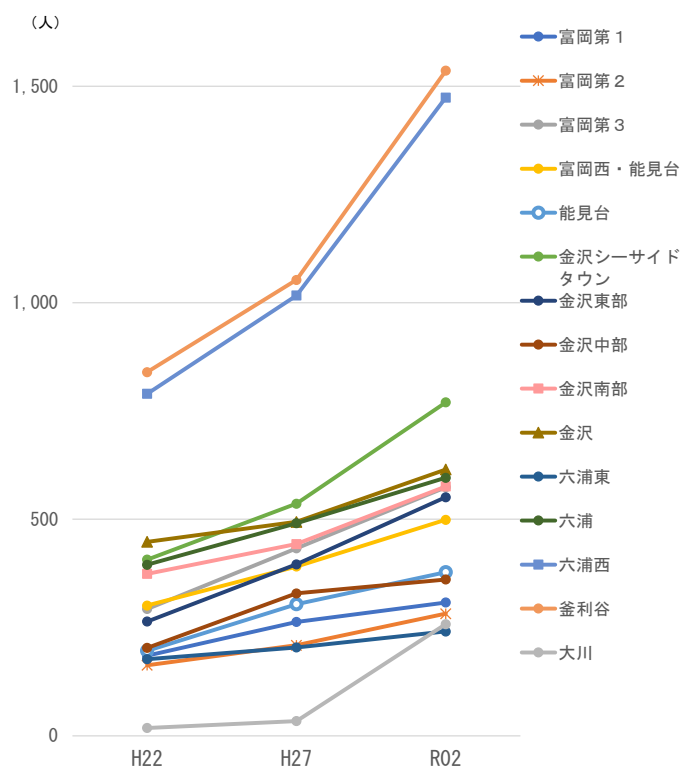
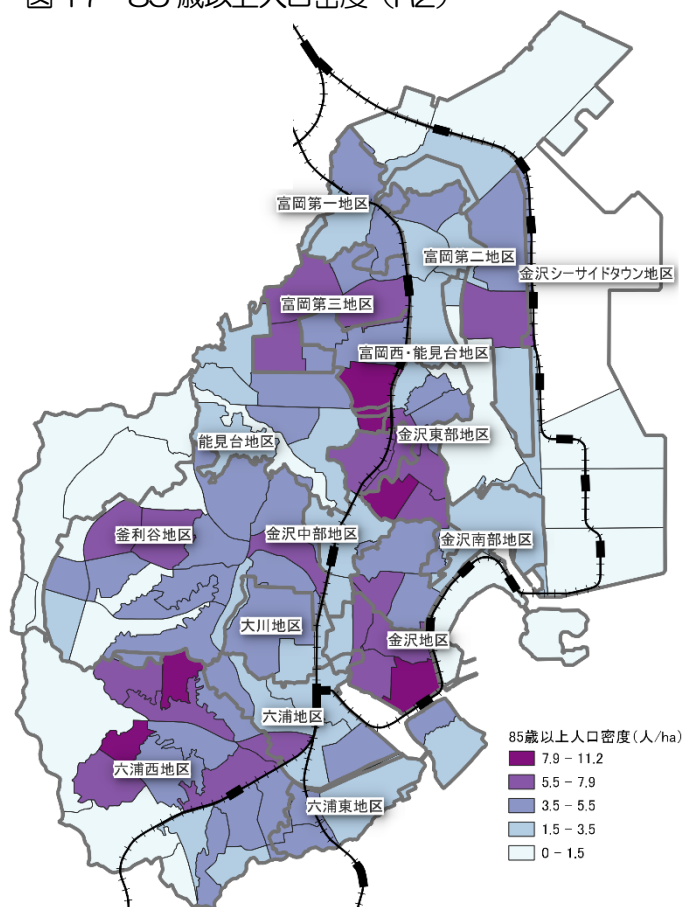


図 17 85 歳以上人口密度 (R2)



6. 地区別年齢別人口の動向と分布 (3)

*国勢調査による(各年10月1日現在)。

図18 0~4歳人口の動向

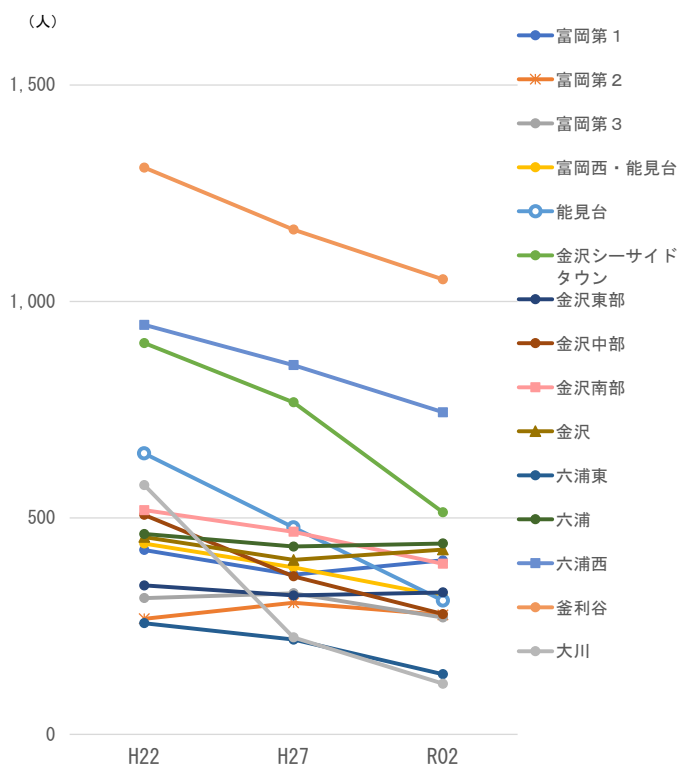


図19 5~9歳人口の動向

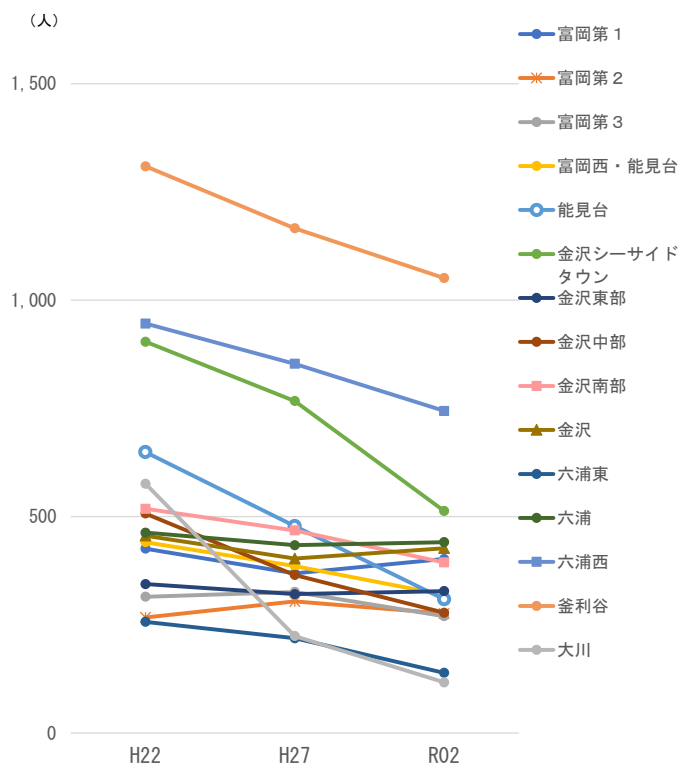


図20 10~14歳人口の動向

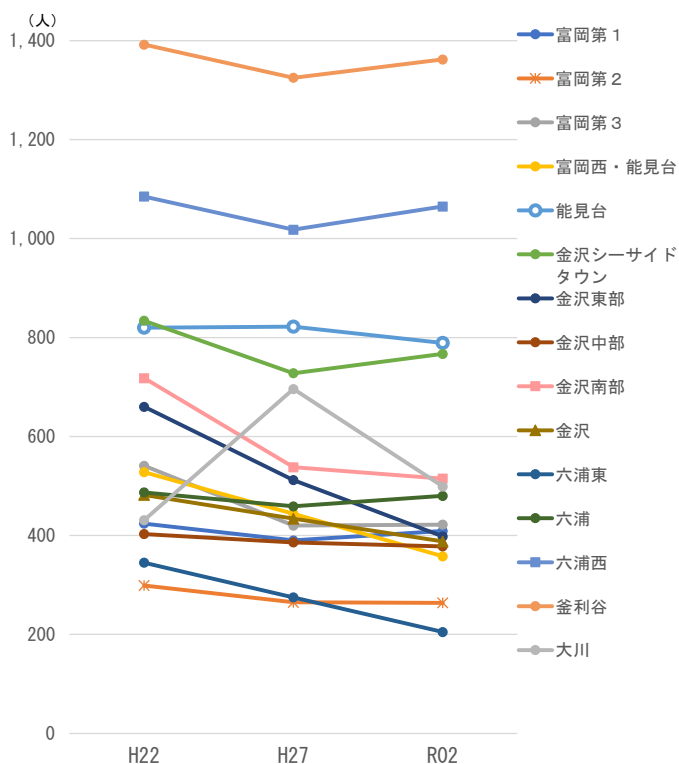


図21 15~19歳人口の動向

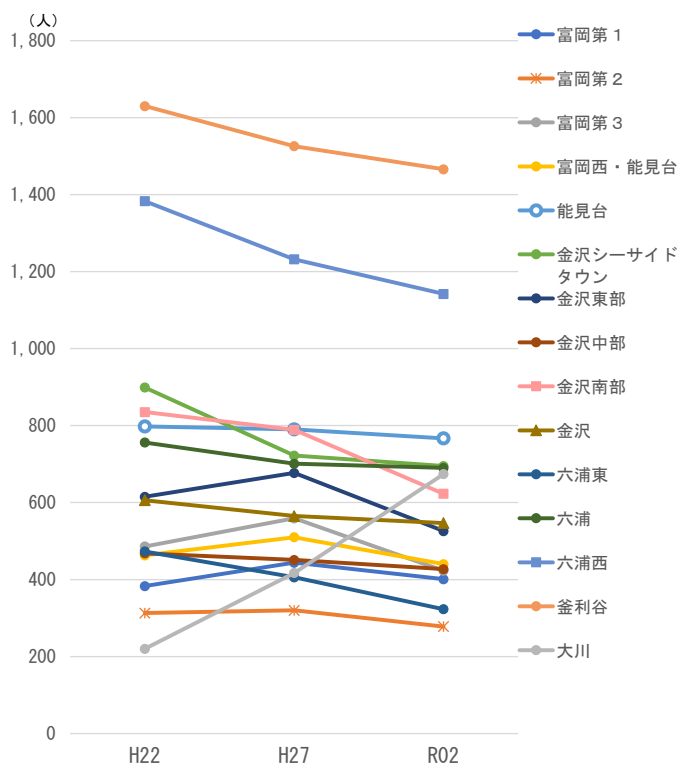


図22 20～24歳人口の動向

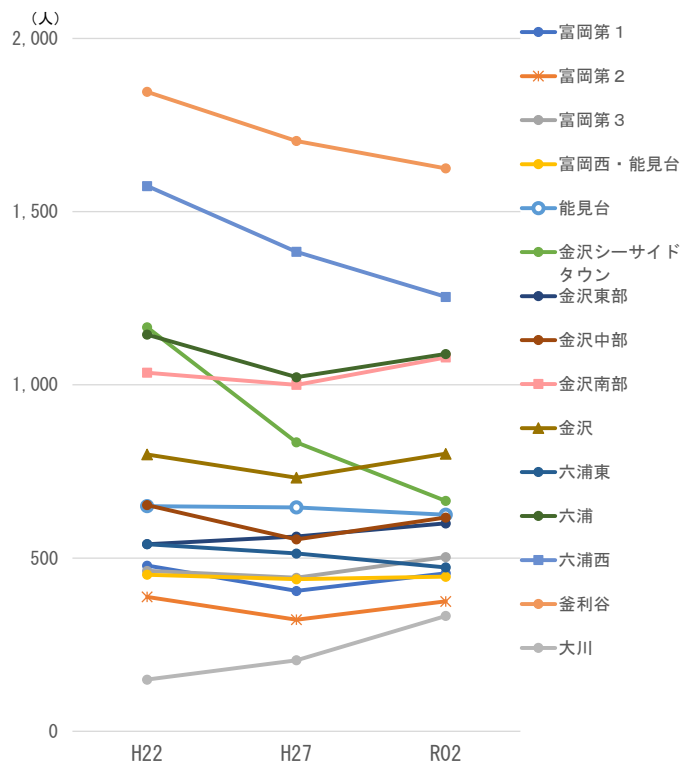


図23 25～39歳人口の動向

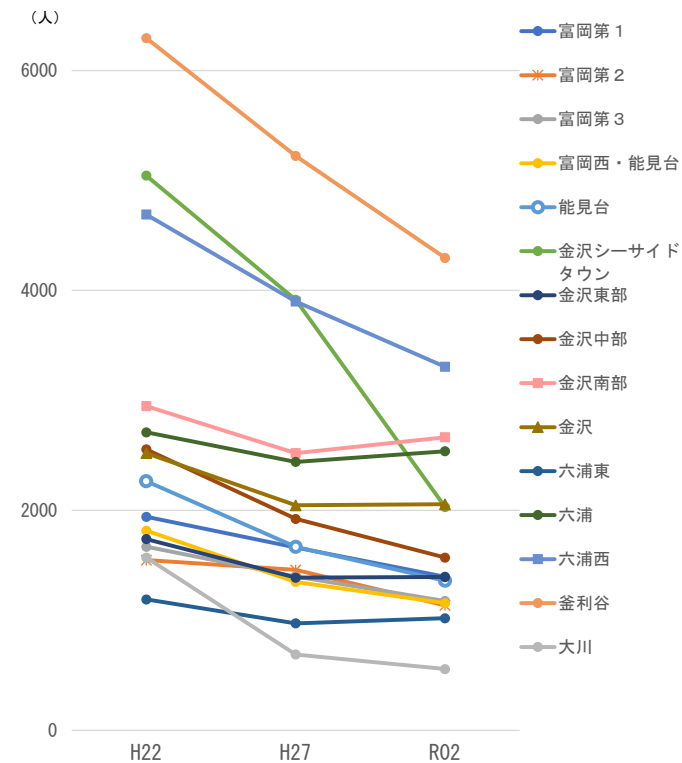


図24 40～64歳人口の動向

